

令和2年度 地域振興会議西ブロック会議

と き 令和2年8月11日(火)

午後1時30分

ところ 鹿野町老人福祉センター 大集会室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 第11次鳥取市総合計画及び第2期鳥取市創生総合戦略の策定について
鳥取市役所企画推進部政策企画課創生戦略室 資料1

(2) 「道の駅いなば気楽里」の現状と今後の取組について 資料2
西いなばまちづくり株式会社 地域振興部長兼駅長 徳岡 義広 氏

(3) その他

4 そ の 他

(1) 各地域の行事予定について 資料3

(2) 亀井さん検定について 資料4

(3) 鷲峯山麓ハーフマラソンについて 資料5

・開催予定月日 令和3年11月28日(日)

・コース(案) ハーフの部、10kmの部
鹿野学園流沙川学舎発着

・想定参加定員 1,000~2,000人

・実行委員会 陸協役員、鹿野・気高の愛好者、鹿の助スタッフなど
13名で組織し、6月10日から4回会議を開催

5 閉 会

【鹿野地域振興会議委員】

	氏 名	選出 区分	備 考
会 長	小川 義和	1号	鹿野まち普請の会会長
副会長	筒井 洋平	2号	鳥取市鳥取西商工会理事
委 員	高田 守	1号	鹿野町自治会長会会長
委 員	山下 直司	1号	勝谷元気づくりの会教育文化部長
委 員	兼平 恵	1号	小鷲河ふるさとを守る会副会長
委 員	砂川 重雄	2号	鳥取市農業委員会委員
委 員	山本 章	2号	鹿野町支部老人クラブ会長
委 員	佐々木 千代子	2号	NPO 法人いんしゅう鹿野まちづくり 協議会理事長
委 員	池原 美穂	3号	公募
委 員	向井 健太郎	3号	公募
委 員	田中 文子	3号	公募
委 員	藤原 真道	3号	公募

【気高地域振興会議委員】

	氏 名	選出 区分	備 考
会 長	河根 裕二	2号	元あおや郷土館・上寺地遺跡展示館館長
副会長	久野 壯	3号	公募
委 員	西尾 雅彦	1号	気高町区長協議会会長
委 員	松本 弥生	1号	きらり☆浜村地区まちづくり協議会 副会長
委 員	田中 弘子	2号	気高地区民生児童委員
委 員	池長 綾子	2号	鳥取市西商工会女性部長
委 員	池原 隆秋	2号	気高町観光協会会長
委 員	木下 公明	2号	元鳥取市立北中学校校長
委 員	居川 一	2号	鳥取市西商工会青年部
委 員	三澤 秀正	3号	公募
委 員	田中 敦志	3号	公募
委 員	荒尾 極	3号	公募

【青谷地域振興会議委員】

	氏 名	選出 区分	備 考
会 長	高橋 克己	2号	保護司 会社役員 鳥取市西商工会理事
副会長	長谷川 英二	2号	鳥取県因州和紙振興会員 自営業（和紙製造） 鳥取市西商工会理事
委 員	山本 誠	1号	青谷町自治連合会会長 西町区長
委 員	平尾 繁幸	1号	日置谷幸せの里づくり協議会役員
委 員	久野 浩太郎	2号	鳥取市老人クラブ連合会青谷支部 老人クラブ副会長 元青谷町助役
委 員	奥谷 吉男	2号	元鳥取県企画部次長 元鳥取県環境管理事業センター理事長
委 員	長谷川 和郎	2号	鳥取地区椎茸組合連合会会長 青谷スポーツクラブマネージャー
委 員	濱江 和恵	2号	鳥取市青谷地区民生児童委員 元小学校教頭
委 員	塩 とみ子	3号	公募
委 員	松岡 礼子	3号	公募
委 員	上田 洋子	3号	公募
委 員	大石 剛史	3号	公募

【鹿野町総合支所】

支所長	米田 洋子
副支所長兼地域振興課長	乾 孝幸
市民福祉課長	三谷 明子
産業建設課長	岡田 実
地域振興課課長補佐	小林 克己

【気高町総合支所】

支所長	三谷 裕之
副支所長兼地域振興課長	岡本 幸子
市民福祉課長	大角 正道
産業建設課長	久野 明男
地域振興課課長補佐	石井 盛光

【青谷町総合支所】

支所長	見生 孝行
副支所長兼地域振興課長	安達 典子
市民福祉課長	高野 博司
産業建設課長	闌木 豊
地域振興課課長補佐	山口 仁子

地域振興会議資料	
令和2年7月 日	
担当課	政策企画課創生戦略室
電 話	30-8014（内線7023）

第11次鳥取市総合計画及び第2期鳥取市創生総合戦略の策定について

本市が新たな時代の諸課題に対応していくための指針となる第11次鳥取市総合計画及び本市の地方創生の充実・強化に向けた施策を定める第2期鳥取市創生総合戦略を策定します。

1 計画期間

(1) 総合計画

基本構想 令和3年度～令和12年度（10年間）

基本計画 令和3年度～令和7年度（5年間）

(2) 総合戦略

総合戦略 令和3年度～令和7年度（5年間）

2 人口の将来展望 … 【P3～4】

3 総合計画

(1) 本市を取り巻く時代の潮流とまちづくりの課題

- ・ 人口減少、少子化、生産年齢人口の減少
- ・ 超高齢社会への対応
- ・ 地域共生社会の実現に向けた取組み
- ・ 命と暮らしを守る安全・安心の備え
- ・ 地域経済の成長・社会変化への対応
- ・ 多様な交流・関係づくりの推進
- ・ 豊かな自然と快適な暮らしの調和
- ・ 時代に適応した自治体経営の推進

(2) 策定に当たっての視点

① 基本的な視点

- ・ 人口減少、少子化、超高齢社会を前提とした計画
- ・ 社会情勢等に的確に対応した計画
- ・ 様々な手法により市民の声を取り入れた計画
- ・ 市民に分かりやすい計画
- ・ 第10次鳥取市総合計画の成果や課題を踏まえた計画

② 新たに取り入れる視点

- ・ 中核市として、圏域全体を見据えた市政運営の視点
- ・ SDGsの視点
- ・ Society5.0の視点
- ・ 新型コロナウイルス感染症に伴う社会・経済状況の変化に対応する視点

(3) 第11次鳥取市総合計画体系の概念図 … 【P5】

4 総合戦略

(1) 基本的視点

本格的な人口減少時代が到来する中で、地域の特色や地域資源を活用し、『いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市』の実現に向けた戦略を総合的に進めます。

また、「鳥取市創生総合戦略」は、「第10次鳥取市総合計画」と同様に、第11次総合計画基本計画の重点施策として位置付けます。

(2) 構成

「第1期鳥取市創生総合戦略」の3つの柱を第2期戦略においても設定し、本市の他にはない優位性（強み）や特性を活かした施策を推進し、目標達成を目指します。

総合戦略の柱	I	次世代の鳥取市を担う ‘ひとづくり’
	II	誰もが活躍できる ‘しごとづくり’
	III	賑わいにあふれ安心して暮らせる ‘まちづくり’

5 これまでの主な経過

令和元年7月30日 ・鳥取市総合企画委員会に諮問

令和元年8月26日～9月20日

・市民アンケート調査実施

令和2年1月26日 ・市民まちづくりワークショップ実施

6 今後の予定

令和2年 7月～9月 ・総合計画ワークショップ実施

5月～令和3年2月

・鳥取市総合企画委員会開催（6回予定）

・市議会に策定状況報告（各定例会予定）

随時 ・各種会議等での説明、意見交換等

10月 ・市民政策コメント実施

12月 ・鳥取市総合企画委員会より答申

令和3年 2月 ・市議会へ第11次鳥取市総合計画基本構想を提案

4月 ・第11次鳥取市総合計画及び第2期鳥取市創生総合戦略施行

総合計画及び総合戦略の策定概要の詳細 … 別添のとおり

鳥取市人口の将来展望

1 将来人口の推計

(1) 鳥取市の人口推移（国立社会保障・人口問題研究所等の推計）

区分		2015年	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年
		H27年	R2年	R12年	R22年	R32年	R42年
人口 (人)	65歳以上	51,547	56,205	59,034	59,714	57,474	51,440
	15～64歳	116,397	108,809	97,647	86,081	75,250	68,159
	0～14歳	25,773	24,381	21,476	19,146	17,128	15,060
	計	193,717	189,395	178,157	164,941	149,852	134,659
割合 (%)	65歳以上	26.6	29.7	33.1	36.2	38.4	38.2
	15～64歳	60.1	57.4	54.8	52.2	50.2	50.6
	0～14歳	13.3	12.9	12.1	11.6	11.4	11.2

出典：H27は国勢調査人口、R2～R22年までは社人研推計、R32年以降は国推計シートの推計

(2) 鳥取市人口の将来展望（人口増加に向けた目標設定）

国は長期ビジョンにおいて、合計特殊出生率が2030年に国民希望出生率1.8程度、2040年に人口置換水準2.07程度を達成することで、2060年に総人口1億人程度を確保し、その後2100年前後に人口が9千万人程度で定常状態となることを見込んでいます。

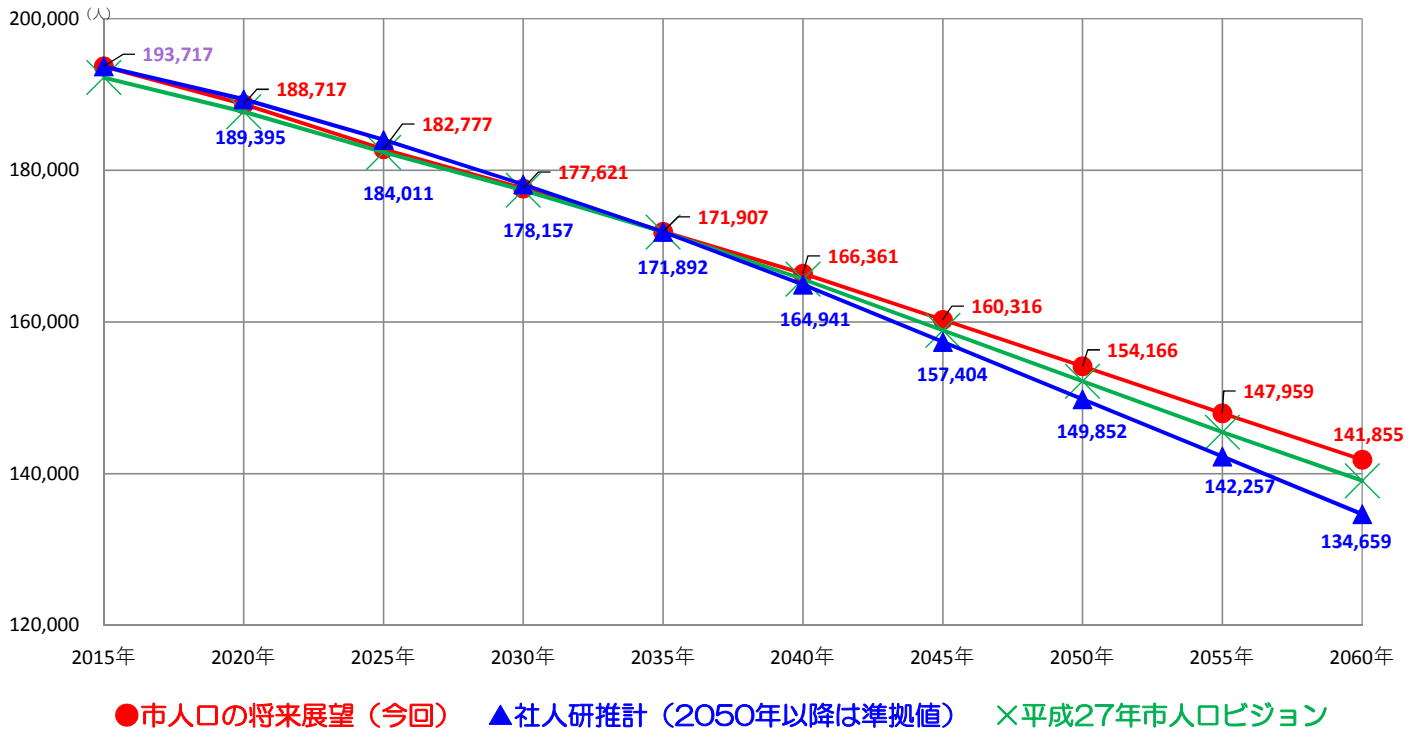
本市の人口増加に向けた目標設定に当たり、国の長期ビジョンを勘案して、以下のとおり目標人口を設定します。



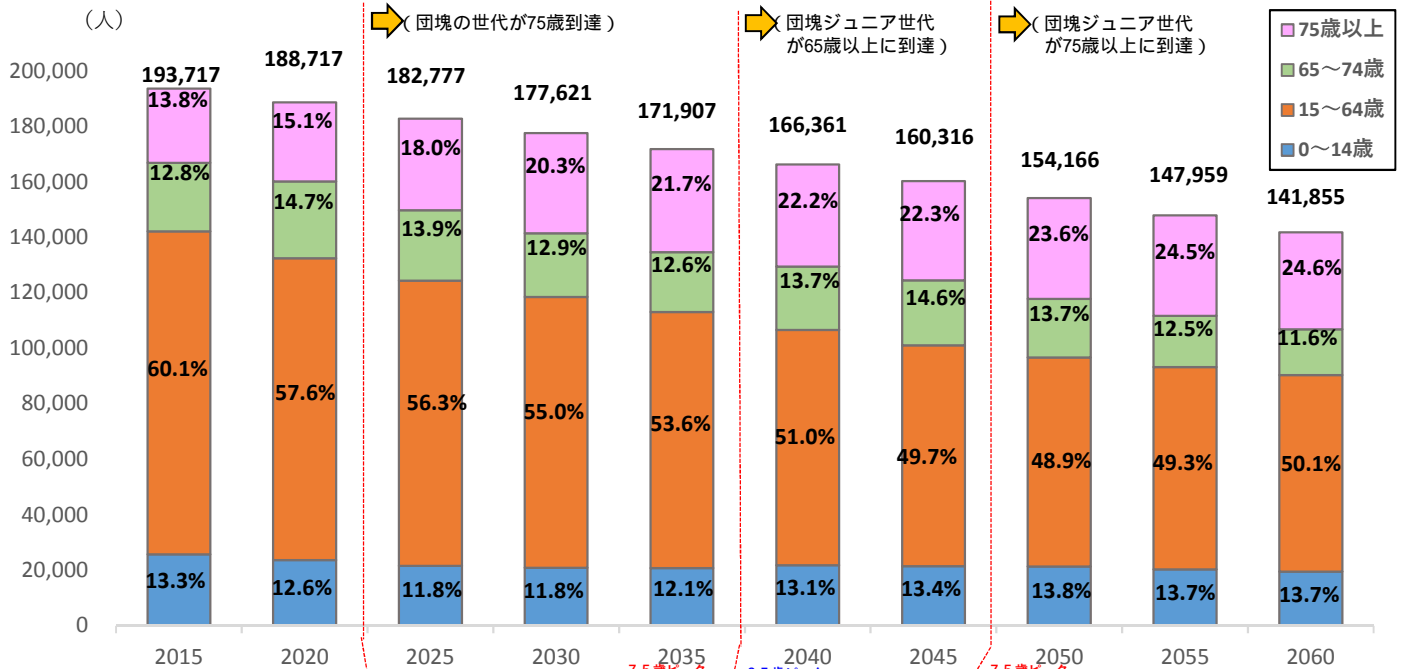
目標 人口	改定前	改定後
		2040年：166千人 2060年：140千人

このたび時点修正した人口の将来展望に基づき、人口ビジョンの目標人口を改定します。

鳥取市人口の推移



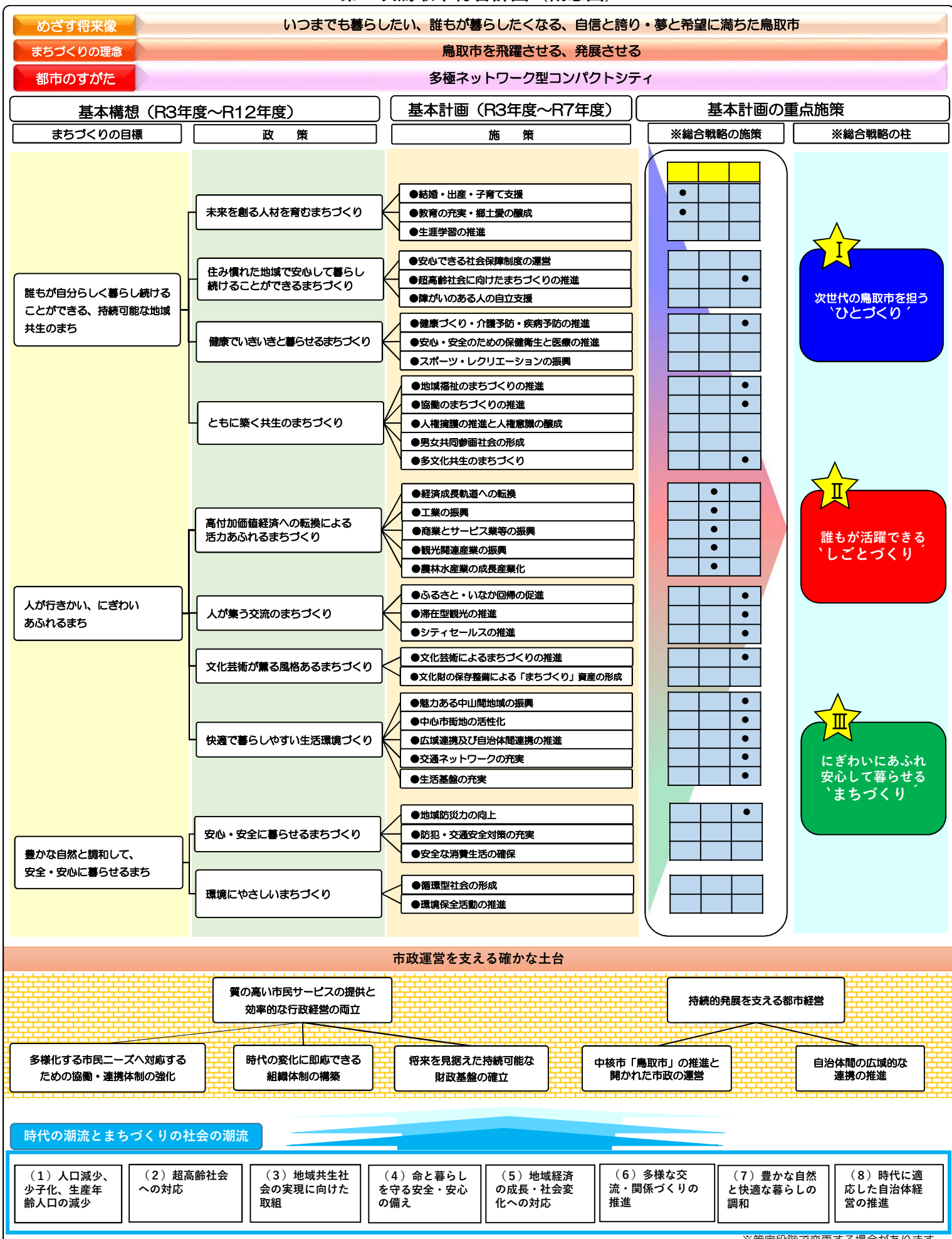
人口の将来展望による年齢4区分別人口割合の推移



男女計	2015年	Ⓐ 2020年	2025年	2030年	2035年	Ⓑ 2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	Ⓑ - Ⓐ
65歳以上	51,547	56,205	58,315	59,036	58,844	59,715	59,191	57,474	54,691	51,440	3,510
75歳以上	26,814	28,526	32,910	36,149	37,247	36,907	35,730	36,324	36,233	34,957	8,381
65～74歳	24,733	27,679	25,405	22,885	21,597	22,808	23,461	21,150	18,458	16,483	Δ4,871
15～64歳	116,397	108,809	102,820	97,649	92,226	84,867	79,596	75,371	72,959	70,950	Δ23,944
0～14歳	25,773	23,703	21,642	20,938	20,837	21,779	21,529	21,321	20,309	19,465	Δ1,924
合計	193,717	188,717	182,777	177,621	171,907	166,361	160,316	154,166	147,959	141,855	Δ22,356

注: 75歳ピーク ↓ (1回目) 2035年, 65歳ピーク ↓ 2040年, 75歳ピーク ↓ (2回目) 2050年

第11次鳥取市総合計画（概念図）



〔 第11次鳥取市総合計画 第2期鳥取市創生総合戦略 〕 の策定について

I 総合計画

1 策定の趣旨

近年、人口減少や少子高齢化、東京圏への人口の一極集中、経済活動のボーダレス化、地方分権、市町村間の広域連携の進展など、地方自治は大きな転換点を迎えています。加えて、猛威を振るう新型コロナウイルス感染症や大規模な自然災害への対応など、市民の命と安全を守る行政には、一層的確な対応が求められています。

本市では、第10次鳥取市総合計画の基本計画が今年度で終期を迎えることから、現計画の成果や課題、本市を取り巻く社会経済情勢や社会制度の変化、市民等の意見や提案などを踏まえ、また、中核市として圏域全体を見据えた市政運営やSDGs¹、Society 5.0²等の新たな視点も取り入れて、これまでの施策展開を必要に応じて見直した上で、新たな時代に的確に対応する「第11次鳥取市総合計画」を策定します。

¹SDGs：平成27年9月の国連サミットにおいて採択された、2030年までに持続可能でより良い世界をめざす国際目標。国は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、地方創生の実現に向けた地方公共団体によるSDGsの推進を位置づけている。

²Society 5.0：国が提唱する先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れて、経済発展と社会的課題の解決を両立していく未来社会の姿のこと。

2 計画の位置付け

総合計画は、本市が総合的かつ計画的にまちづくりを推進するための指針であり、本市の最上位計画となります。この計画において、「鳥取市創生総合戦略」は、「第10次鳥取市総合計画」と同様に、総合計画基本計画の重点施策として位置付けます。

また、本市は、鳥取県東部4町（岩美町・若桜町・智頭町・八頭町）と兵庫県新温泉町及び香美町で「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏」を形成しており、各町と連携して推進する「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン」を考慮して策定します。



3 時代の潮流とまちづくりの課題

(1) 人口減少、少子化、生産年齢人口の減少

- 平成 30（2018）年の国立社会保障・人口問題研究所の「地域別将来推計人口」³によると、2030 年以降は、すべての都道府県で人口が減り始め、2045 年には7割の市区町村で 2015 年に比べ、人口が 20%減少すると推計されている。
- 15～64 歳人口は、平成 7（1995）年に 8,716 万人でピークを迎え、その後減少に転じ、令和元（2019）年には 7,507 万人と、総人口に占める割合は 59.5%となっている。（国勢調査：H22 年 63.8%、H27 年 60.7%）
- 近年の出生数は年間約 100 万人。2040 年にはこの世代が 20 代になる。社会の支えてとなる生産年齢人口が更に減少し、社会の活力の維持が問題となる。
- 本市においても、就職や進学による若者の大都市圏への流出が、人口減少や少子高齢化の進展に拍車をかけており、引き継がれてきた文化・技術の継承をはじめ、日用品の調達、公共交通の確保など生活機能や地域コミュニティの維持等、社会の活力低下が懸念される。

☞ 人口減少、少子化を前提とした地域社会のあり方を検討し、持続可能なまちづくりが必要となっている。

³国立社会保障・人口問題研究所の推計：人口や世帯の動向、社会保障政策や制度の研究を行っている厚生労働省に所属する国立の研究機関が示した日本の将来推計人口の出生中位、死亡中位推計。

(2) 超高齢社会⁴への対応

- 我が国の総人口は、令和元年 10 月 1 日現在、1 億 2,617 万人。65 歳以上人口は、3,589 万人となり、総人口に占める割合（高齢化率）は 28.4%。（S45 年に 7%を超え、H6 年に 14%を超え、現在に至る）
- 同年の総人口に占める割合は、65～74 歳人口 13.8%、75 歳以上人口 14.7%で、75 歳以上人口が 65～74 歳人口を前年に引き続き上回った。
- 2025 年には団塊の世代⁵（出生数 260～270 万人/年）が全て 75 歳以上の後期高齢者に到達する。また 2040 年には団塊ジュニア世代⁶（出生数 200～210 万人）が高齢者に到達する。医療や介護を必要とする高齢者が今後更に増加し、それに伴い社会保障費も増大することが見込まれる。
- 本市においても、医療や介護を必要とする高齢者が今後更に増加するとともに、核家族化の進展や平均寿命の延伸に伴い、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯も今後更に増加することが見込まれる。

☞ 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、健康寿命の延伸や、医療や介護、生活支援などの包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシ

テム)の深化・推進に向けた取組みが必要となっている。

⁴ 超高齢社会：一般的に、65歳以上の人口が、全人口に対して7%を超えると「高齢化社会」、14%を超えると「高齢社会」、21%を超えると「超高齢社会」と呼ばれている。

⁵ 団塊の世代：一般的に、昭和22～24年(1947～49年)生まれの大きな人口の隆起を指す。

⁶ 団塊ジュニア世代：一般的に、昭和46～49年(1971～74年)生まれの大きな人口の隆起を指す。

(3) 地域共生社会の実現に向けた取組み

- 我が国においては、総人口の減少を背景とする少子高齢化や核家族化、高齢者世帯の増加や世帯の小規模化などを要因として、地域におけるコミュニティ意識の希薄化、地域活動の担い手の高齢化やなり手不足など、地域で支え合う力の弱体化が問題となっている。
- まちづくりの課題や住民のニーズが複雑かつ多様化する中で、子どもや高齢者、障がい者等への虐待、孤立死、いじめ、ひきこもり、生活困窮、8050問題⁷など、様々な社会問題も顕在化している。
- 国は、深刻な人手不足の状況に対応するため、一定の専門性・技能を有し、即戦力となる外国人材を受け入れる新たな在留資格「特定技能」を2019年4月に創設。今後、外国人住民の増加や行政サービス等に対するニーズの多様化が想定され、多文化共生の取組みが重要となっている。
- 本市においては、「鳥取市地域福祉推進計画」を策定し、保健・医療・福祉等の制度によるサービスだけでなく、地域の絆によって住民が相互に助け合い、関係機関や団体と連携しながら、協働で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりに取り組んでいる。

☞ **共に助け合い、支え合いながら、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に築いていくことのできる「地域共生社会」の実現に向けた取組みが必要となっている。**

⁷8050問題：高齢の親と働いていない独身の50歳代の子が同居している世帯の生活上の問題。

(4) 命と暮らしを守る安全・安心の備え

- 東日本大震災をはじめ、日本各地で地震や台風、これまでの想定を超える短時間での豪雨など、大規模な自然災害が頻発している。
- 新型コロナウイルス感染症など新たな感染症への対応や交通事故、武力攻撃事態等における国民保護に関する措置など、対応すべき課題は多岐にわたっている。
- 国の刑法犯認知件数の総数は、平成14年(2002年)をピークに一貫して減少傾向にあるが、その一方で、特殊詐欺(オレオレ詐欺や振り込め詐欺等)の認知件数は依

然として高い水準にあり、また、ストーカー事案や配偶者からの暴力事案等の相談等件数、児童虐待事件については増加傾向にある。

- 住民・事業者・行政などが関係機関と連携し計画的かつ実践的な対応、日頃の備えが一層重要となっている。

☞ 様々なリスクに対する危機管理体制を強化し、地域の防犯・防災に対応する取組みの推進、市民に対する適切な情報提供など、市民が安全に安心して暮らせるまちづくりを進めることが一層重要となっている。

(5) 地域経済の成長・社会変化への対応

- 生産年齢人口の減少により、人手不足が全国的に深刻化し、生活を支えるサービスの供給や地域の経済活動の制約となる恐れが懸念されている。

- 中小企業では経営者の高齢化が進み、後継者の確保が課題に。また農業分野では農業従事者の高齢化が進み、その数が大幅に減少し、熟練農業者のノウハウが失われる恐れがある。

- 維持管理更新が必要なインフラが増加していく中で、土木・建築分野の労働力は減少傾向にある。また、医療・介護分野の労働者は、2030年には製造業と同水準まで増加し、2040年には製造業を上回り、労働者の5人に1人を占めると見込まれている。

- 本市においては、企業誘致や地場産業の振興、6次産業化や農商工連携による高付加価値化に向けた新たな取組み等を進め、地域経済の一層の成長、雇用の確保に取り組んでいる。

- 新型コロナウイルス感染症は、国内外の経済活動に甚大な影響をもたらしており、本市においても経済的な影響を受けている事業者支援に取り組んでいる。

☞ 今後も国や県の動向、国内外の経済情勢を踏まえた取組みを進めるとともに、成長分野の産業育成や地域に必要な人材の育成、多様で柔軟な働き方への転換が必要となっている。

☞ 雇用の維持や事業の継続、生活の下支えを行うとともに、新型コロナウイルスの感染拡大収束を見据えて、経済成長や社会生活の回復、社会変化への対応に向けた取組みが必要となっている。

(6) 多様な交流・関係づくりの推進

- 交通手段やICT⁸の利便性が向上するなか、SNSなどによる情報交換・交流をもとに現地を訪問・観光するなど、レジャーや余暇活動などライフスタイルが多様化している。

- 日本で暮らす外国人の増加や、インバウンド観光客が歴史・文化の体験・交流等を

求めて地方都市へ来訪するなど、外国人が身近にいる状況が日常的になりつつある。

- 全国的に東京一極集中の傾向が継続し、東京圏に全人口の約 3 割が集中する状況となっており、今後さらに人口の偏在化が進む可能性がある。
 - 近年では、「関係人口」として地方・地域に関わるなかで住民との理解を深め、地域の課題解決に貢献する等の新たな取組みを試みる人材が注目されている。
 - 本市においては、鳥取砂丘コナン空港発着の「鳥取—東京」間の 1 日 5 便運航や山陰道などの高速道路ネットワークの整備が進んでおり、国内と海外の交流の結節点となる条件が整いつつある。
- ☞ **本格的な人口減少社会の到来に際し、国内外の人々との多様な形での交流・関係づくりを活かしたまちづくりが必要となっている。**

⁸ICT：information and communication technology の略。情報・通信に関連する技術の総称。

(7) 豊かな自然と快適な暮らしの調和

- 「パリ協定」⁹に基づく平均気温の上昇を抑えるため、太陽光発電に代表される自然エネルギーの導入等により温室効果ガスの排出量を大幅に削減していくことが必要となっている。
 - 地球規模で急速に進む気候変動の影響に対する適応策が求められている。
 - ごみ減量、再使用、分別・資源回収の徹底による資源を大切にする循環型社会の構築や、豊かな自然環境を保全し、生物多様性に配慮した自然との共生が求められている。
 - 本市においても、省エネルギーの取組み、再生可能エネルギーの利用拡大、エネルギーの地産地消等を推進している。
- ☞ **限りある資源や自然環境を保全し、自然と暮らしが調和した環境づくりを進めることが一層重要となっている。**

⁹パリ協定：世界各国が地球温暖化防止の取組みを定めた国際協定。日本政府は、2030年の温室効果ガスを2013年比で26%削減することを目標としている。

(8) 時代に適応した自治体経営の推進

- 国と地方の関係が見直されていく中で、市町村は住民に最も身近な行政主体として、これまで以上に自主性と自立性を高めていくことが求められている。
- 地方の財政状況は、生産年齢人口の減少に伴う税収入等の減少や高齢化の進展による社会保障経費の増大など、今後更に厳しさを増すことが予想される。
- 人口急増期に整備してきた公共施設（道路・橋りょう・上下水道等といったインフ

ラと学校・福祉施設等の公共建築物)の老朽化が進行するとともに、更新時期が一斉かつ大量に到来する。本市においても、今後、改修や更新等が増加していく時期を迎えることから、段階的な都市機能や社会基盤の集約化や公共施設等の更新問題への対応が必要となってくる。

- 本市はもとより、因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏においても人口減少は今後更に進むことが見込まれる。圏域単位、あるいは圏域を超えた自治体間で連携し、住民サービスを維持していくことが、今後ますます重要となってくる。

☞ **人口減少時代に適応した自治体経営が必要となっている。**

4 策定に当たっての視点

(1) 基本的な視点

- ① 人口減少、少子化、超高齢社会を前提とした計画
- ② 社会情勢等に的確に対応した計画
- ③ 様々な手法により市民の声を取り入れた計画
- ④ 市民に分かりやすい計画
- ⑤ 第10次鳥取市総合計画の成果や課題を踏まえた計画

(2) 新たに取り入れる視点

- ① 中核市として、圏域全体を見据えた市政運営の視点
- ② SDGsの視点
- ③ Society5.0の視点
- ④ 新型コロナウイルス感染症に伴う社会・経済状況の変化に対応する視点

5 計画推進における基本的な考え方

社会経済情勢とともに変化する地域の諸課題に主体的に対応し、本市が目指す将来像の実現に向け、次の考え方を基本に自立した市政運営を図るための計画推進の基礎となる基本方針を次のように定めます。

【基本方針1】

〔 質の高い市民サービスの提供と効率的な行政経営の両立 〕

新たな行政サービスの提供や既存の行政サービスの利便性の向上を図るとともに、効率的で効果的な行政経営を行います。

【基本方針 2】

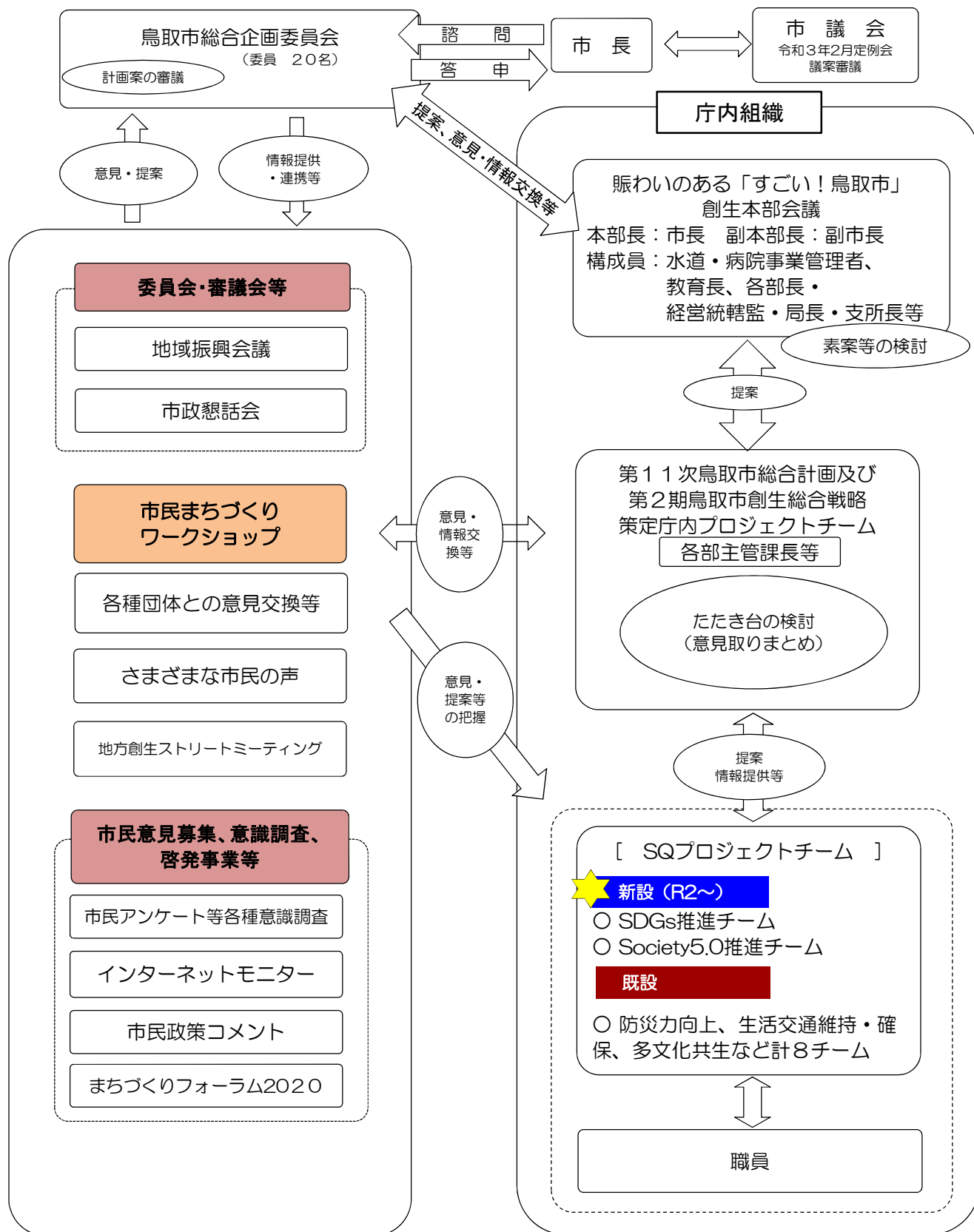
〔 持続的発展を支える都市経営 〕

中核市として地方自治体の自主性、自立性を高める地方分権を推進するとともに、基礎自治体としての機能強化に向けた取組みや国・県、他都市との連携による地域課題の解決に取り組めます。近隣自治体との連携はもとより、県境を越えたさまざまな広域連携の取組みを進めることで、圏域全体の持続的発展と魅力向上を図ります。

6 第 11 次鳥取市総合計画体系の概念図 … P8 のとおり

7 策定体制概念図（案） … P9 のとおり

第11次鳥取市総合計画及び第2期鳥取市創生総合戦略 〔策定組織体制概念図〕

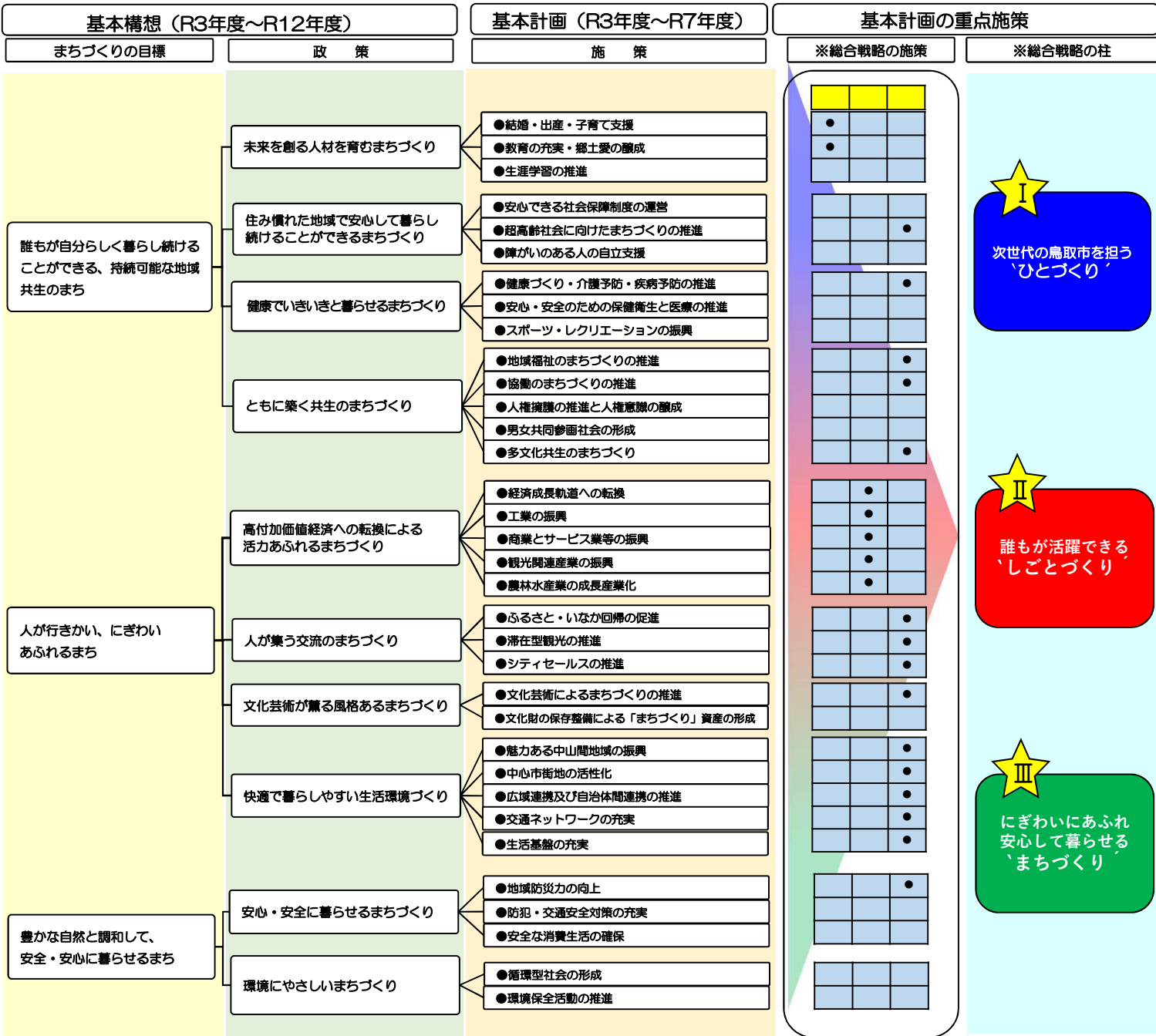


第11次鳥取市総合計画（概念図）

めざす将来像 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市

まちづくりの理念 鳥取市を飛躍させる、発展させる

都市のすがた 多極ネットワーク型コンパクトシティ



市政運営を支える確かな土台



時代の潮流とまちづくりの社会の潮流

- | | | | | | | | |
|------------------------|---------------|---------------------|----------------------|----------------------|--------------------|---------------------|---------------------|
| (1) 人口減少、少子化、生産年齢人口の減少 | (2) 超高齢社会への対応 | (3) 地域共生社会の実現に向けた取組 | (4) 命と暮らしを守る安全・安心の備え | (5) 地域経済の成長・社会変化への対応 | (6) 多様な交流・関係づくりの推進 | (7) 豊かな自然と快適な暮らしの調和 | (8) 時代に適応した自治体経営の推進 |
|------------------------|---------------|---------------------|----------------------|----------------------|--------------------|---------------------|---------------------|

※策定段階で変更する場合があります。

9 計画の役割、構成及び期間

(1) 計画の役割

この計画は、「鳥取市自治基本条例」に基づき、総合的かつ計画的な市政運営を図るため策定するものです。

令和 12 年度までの長期展望に立って、市勢振興の基本的方向を示すとともに、本市のめざす将来の都市像を明らかにするものであり、具体的には次のような役割を担うものです。

- 市民等においては、市民が主役となるまちづくりの方向性を明らかにするものです。
- 行政においては、長期的な市政運営のめざす目標を明らかにし、市民とともに主体的かつ計画的にまちづくりに取り組む上での指針となるものです。
- 国、県等に対しては、計画の実現に向けた連携やそれぞれの役割を明確にする上で本市の施策を明らかにするものです。

(2) 構成及び期間

本計画は、次のとおり「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」で構成されています。

① 基本構想：10 年間（令和3年度～令和 12 年度）

基本構想は、本市のめざす将来像とその実現に向けた「まちづくりの目標」を明らかにしたものです。また、主な指標として、人口と財政の長期的な見通しを示します。

② 基本計画：5 年間（令和3年度～令和7年度）

基本計画は、基本構想を推進するために令和7年度までの5年間に取組む施策と指標（目標）を明らかにします。また重点施策については、まち・ひと・しごと創生法に基づき本年度策定する「第2期鳥取市創生総合戦略」（令和3年度～令和7年度）の「施策」と位置付けます。

③ 実施計画：前期（令和3年度～令和5年度）後期（令和5年度～令和7年度）

実施計画は、基本計画で示された施策に基づき、令和7年度までに毎年度実施する具体的な事業を3年間の前期実施計画と後期実施計画に区分して明らかにします。後期実施計画は、前期実施計画の取組み状況を踏まえて策定します。

(総合計画、創生総合戦略の計画期間)

年度		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
第11次鳥取市総合計画	基本構想	10年間(令和3年度～令和12年度)										
	基本計画	5年間(令和3年度～令和7年度)										
	実施計画	前期実施計画(3年間)			後期実施計画(3年間)							
第2期鳥取市創生総合戦略		5年間(令和3年度～令和7年度)										

(3) 計画の進行管理

「まちづくり」の目標の実現に向け、戦略的に施策を展開するため、PDCAサイクル¹⁰により成果を重視した進行管理を行います。



¹⁰PDCA サイクル：PLAN（計画）、DO（実行）、CHECK（検証）、ACTION（改善）の4つのステップを一つのプロセスとしてとらえ組織を運営していくことで、継続的な改善を図るマネジメントの考え方。

10 策定における市民の声の反映

- 市民アンケート調査等の実施
- 市民まちづくりワークショップの開催
- 市政懇話会・地域振興会議等の審議会や各種団体等との意見交換
- 若者や移住者等とのストリートミーティングの開催
- インターネットモニターの活用、市民政策コメントの実施 等

Ⅱ 総合戦略

1 策定の趣旨

国は、人口減少に歯止めをかけるとともに、地方創生を成し遂げることを目的とした「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（平成 26 年 12 月 27 日閣議決定）を策定しました。これを受け、本市においても平成 27 年 9 月に「第 1 期鳥取市創生総合戦略」（平成 27 年度～平成 31 年度）を策定し、地方創生の実現に向けた取組みを進めてきました。（令和元年度には、第 11 次鳥取市総合計画と一体的に作成するため、計画期間を令和 2 年度まで 1 年延長）

その後、国は、第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和 2 年度～令和 6 年度）に向けた基本的な考え方を示した「まち・ひと・しごと創生基本方針 2019」（令和元年 6 月 21 日閣議決定）に基づき、地方公共団体に対して、地方創生の充実・強化に向けた切れ目のない取組みを進めるため、次期「地方版総合戦略」の策定を求めました。

全国的に人口減少や少子高齢化が進展する中であっても、課題に的確に対応し、本市が将来にわたり持続可能な都市として発展・継続するとともに、中核市として鳥取県東部圏域や麒麟のまち圏域の一体的な発展にも寄与していくことを目指し、長期ビジョンである「鳥取市人口ビジョン」を改訂するとともに、第 2 期「鳥取市創生総合戦略」（令和 3 年度～令和 7 年度）を策定します。

2 人口ビジョン及び総合計画との関係

「第 2 期鳥取市創生総合戦略」は、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国の第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び鳥取県の第 2 期戦略「鳥取県令和新時代創生戦略」を勘案し、策定します。

また、2060 年までの本市の人口減少に対する基本的な方向を示す「鳥取市人口ビジョン」は、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」（令和元年改訂版）及び鳥取県の「鳥取県人口ビジョン」（令和 2 年 3 月改定版）を勘案し、改訂します。

なお、「第 2 期鳥取市創生総合戦略」は、本市の最上位計画である「第 11 次鳥取市総合計画」に重点施策として位置付けます。

3 人口ビジョン

(1) 人口の現状分析

- 鳥取市の総人口は 2005 年の 201,740 人をピークに人口は減少の一途をたどり、2020 年 3 月末の住民基本台帳人口では 186,180 人と、すでに本格的な人口減少局面に。

【人口推移】

(単位：人)

区分	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
	(H12年)	(H17年)	(H22年)	(H27年)	(R2年)
鳥取市人口	200,744	201,740	197,449	193,717	186,180
対前回増減	—	996	△4,291	△3,732	△7,537

出典：国勢調査（H12～27年）、住民基本台帳人口（R2.3.31現在）

- 1人の女性が一生に産む子どもの平均数である合計特殊出生率は2018年で1.50と鳥取県全体の水準1.61を下回り、低出生率の状態が継続。

【合計特殊出生率】

区分	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
	(H26年)	(H27年)	(H28年)	(H29年)	(H30年)
全国	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42
鳥取県	1.60	1.65	1.60	1.66	1.61
鳥取市	1.60	1.66	1.55	1.45	1.50

出典：厚生労働省 人口動態統計、市の数値は「鳥取県人口動態統計」

- 出生数は多少の増減はあるものの、全体として減少傾向にある。

区分	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
	(H26年)	(H27年)	(H28年)	(H29年)	(H30年)
全国	1,018,003	1,024,041	997,781	964,690	937,542
鳥取県	4,549	4,634	4,473	4,330	4,224
鳥取市	1,641	1,636	1,580	1,419	1,442

出典：総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査

- 人口増減は2005年以降15年連続で、転出が転入を超過する社会減の状態が継続。

【人口増減】

(単位：人)

区分	2003年	2004年	2005年	・・・	2017年	2018年	2019年
	H15年	H16年	H17年	・・・	H29年	H30年	R1年
自然増減	427	154	△97	・・・	△844	△771	△921
社会増減	△111	128	△657	・・・	△326	△728	△397
計	316	282	△754	・・・	△1,170	△1,499	△1,318

出典：鳥取県人口移動調査（H15年は合併前の鳥取市）

(2) 将来人口の推計（社人研推計）

- 国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」及び、地方人口ビジョン策定のために国から提供されたワークシートの推計によれば、2015年の国勢調査時の193,717人の人口は、今後急速に減少を続け、2040年には164,941人（約14.8%減少）、2060年には134,659人（約30.5%減少）となる見込み。
- 15～64歳の生産年齢人口はその構成比が2015年の60.1%から2040年には52.2%まで減少し、65歳以上の高齢者人口は26.6%から36.2%へと大幅に増加する見込み。
- ※ 平成27年に作成した人口ビジョンの際に用いた社人研の推計データと現在の推計データを比較すると人口減少のスピードがやや遅くなっていますが、危機的状況であることに変わりはありません。

【人口の推移】

区分		2015年	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年
		H27年	R2年	R12年	R22年	R32年	R42年
人口 （人）	65歳以上	51,547	56,205	59,034	59,714	57,474	51,440
	15～64歳	116,397	108,809	97,647	86,081	75,250	68,159
	0～14歳	25,773	24,381	21,476	19,146	17,128	15,060
	計	193,717	189,395	178,157	164,941	149,852	134,659
割合 （%）	65歳以上	26.6	29.7	33.1	36.2	38.4	38.2
	15～64歳	60.1	57.4	54.8	52.2	50.2	50.6
	0～14歳	13.3	12.9	12.1	11.6	11.4	11.2

出典：H27は国勢調査人口、R2～R22年までは社人研推計、R32年以降は国推計シートの推計

(3) 人口の将来展望（人口増加に向けた目標設定）

- 国は長期ビジョンにおいて、合計特殊出生率¹¹が2030年に国民希望出生率1.8程度、2040年に人口置換水準2.07程度を達成することで、2060年に総人口1億人程度を確保し、その後2100年前後に人口が9千万人程度で定常状態となることを見込んでいる。
- 本市の人口増加に向けた目標設定に当たり、国の長期ビジョンを勘案して、以下の条件で推計。

- 本市の合計特殊出生率 1.50（2018 年）が 2030 年に 1.8 に、2040 年には 2.07 に上昇するケースを仮定して目標を設定。（※2.07 は 2001 年～2016 年における人口置換値¹²⁾）

※ **【社人研推計では 2020 年 1.64、2025 年は 1.62、その後微増し 2035 年以降はほぼ 1.64 を維持するとされており、本市推計は 2020 年～2029 年において、より厳しいケースを想定しています。】**

- 純移動率は 2010 年→2015 年の国勢調査等に基づき算出された移動率が継続するものと仮定。 **※社人研推計準拠**

¹¹ 合計特殊出生率：人口統計上の指標で、一人の女性が一生に産むこどもの数の平均数を示した指標。

¹² 人口置換値：人口が将来にわたって増減なく、親の世代と同数で置き換わるための大きさを示す指標。

鳥取市将来展望人口の試算の内容 … P16～17のとおり



	改定前	改定後
目標人口	2040年：166千人 2060年：140千人	2040年：167千人 2060年：142千人

このたび時点修正した人口の将来展望に基づき、人口ビジョンの目標人口を改定します。

鳥取市人口の将来展望の試算

1 社人研推計および国による鳥取市の将来推計人口

将来推計人口	2040年：164,941人
	2060年：134,659人

社人研：国立社会保障・人口問題研究所

2 鳥取市人口の将来展望のシミュレーション結果

以下のとおり、社人研推計の合計特殊出生率の状況を変化させ、将来展望人口のシミュレーションを実施。（社人研推計の合計特殊出生率は2020年1.64、2025年1.62、その後微増し2035年以降はほぼ1.64を維持）

人口の将来展望（シミュレーション）

【推計条件】
 基準人口：2015年10月1日現在（国勢調査）
 合計特殊出生率：2020・2025年は1.5とし、2030年には1.8（希望値）に、2040年には2.07（人口置換値以上）に上昇すると仮定
 社会移動の状況：2010年 2015年の移動率が維持されると仮定。
 現在の社人研推定値適用
 シニア世代等が転入超過となる推計。

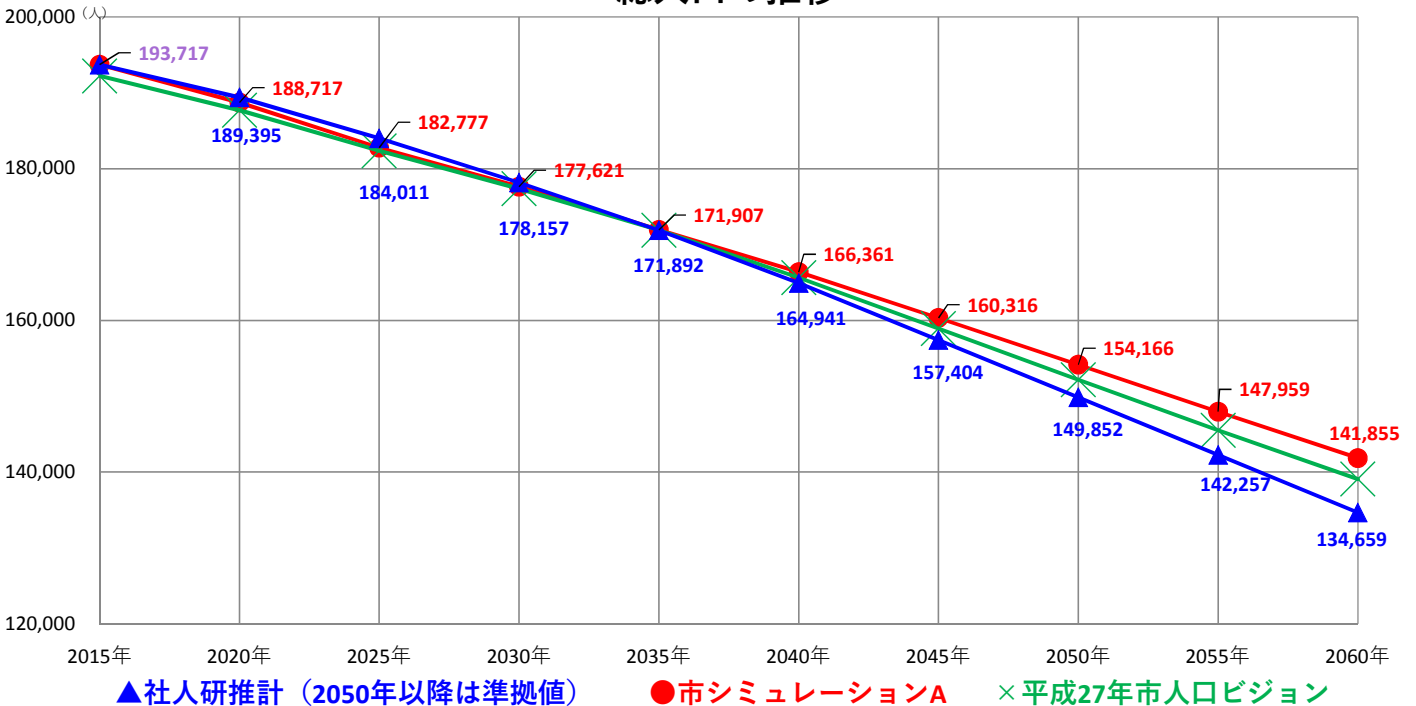
2040年：166,361人
 2060年：141,855人

平成27年人口ビジョン

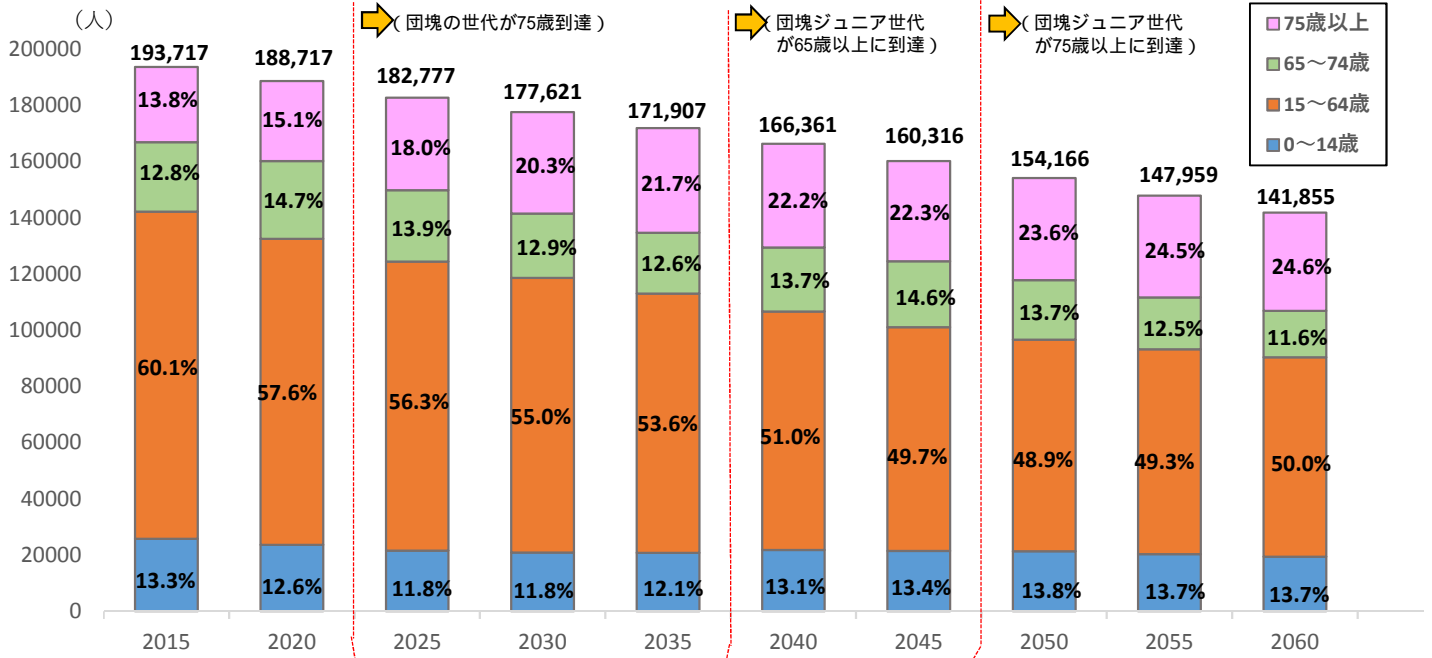
【推計条件】
 基準人口：2010年10月1日現在（国勢調査）
 合計特殊出生率：1.55（2013年数値）が2020年に1.8（希望値）に、2030年には2.07（人口置換値）に上昇すると仮定
 社会移動の状況：今後10年をかけて移動率を約0.5倍に逡減し、その後一定すると仮定。
 当時の社人研推定に準拠
 85歳以上の年齢層を除いて転出超過となる推計。

2040年：165,639人
 2060年：139,077人

総人口の推移



＜参考：人口の将来展望（シミュレーション）による年齢4区分別人口割合の推移＞



男女計	2015年	(A) 2020年	2025年	2030年	2035年	(B) 2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	(B) - (A)
65歳以上	51,547	56,205	58,315	59,036	58,844	59,715	59,191	57,474	54,691	51,440	3,510
75歳以上	26,814	28,526	32,910	36,149	37,247	36,907	35,730	36,324	36,233	34,957	8,381
65～74歳	24,733	27,679	25,405	22,885	21,597	22,808	23,461	21,150	18,458	16,483	Δ4,871
15～64歳	116,397	108,809	102,820	97,649	92,226	84,867	79,596	75,371	72,959	70,950	Δ23,944
0～14歳	25,773	23,703	21,642	20,938	20,837	21,779	21,529	21,321	20,309	19,465	Δ1,924
合計	193,717	188,717	182,777	177,621	171,907	166,361	160,316	154,166	147,959	141,855	Δ22,356

（単位：人）

75歳ピーク ↓ (1回目)

65歳ピーク ↓

75歳ピーク ↓ (2回目)

一時回復

《2060年の人口構成》

人口の将来展望（シミュレーション）

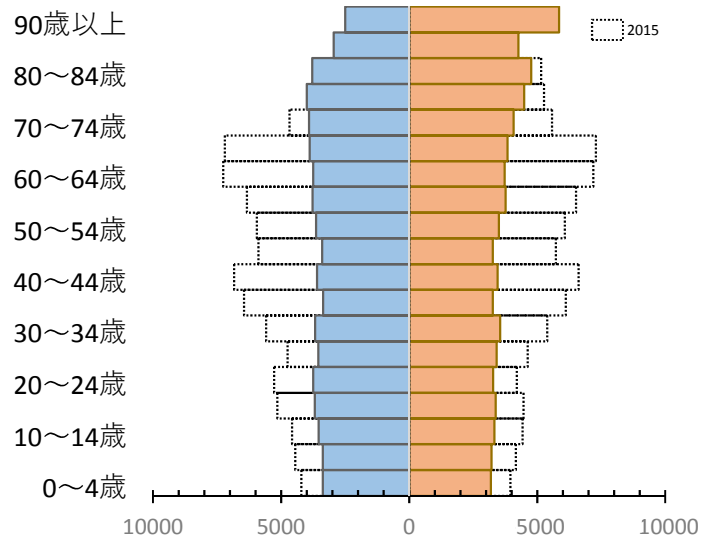
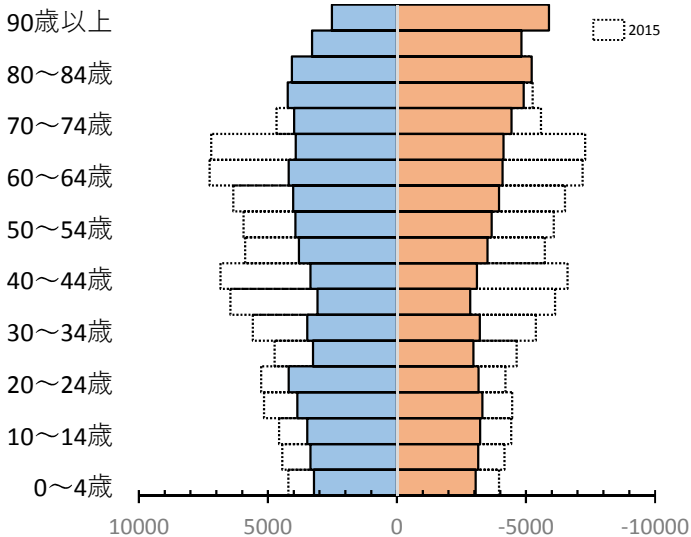
【推計条件】

基準人口：2015年10月1日現在（国勢調査）
 合計特殊出生率：2020・2025年は1.5とし、
 2030年には1.8（希望値）に、
 2040年には2.07（人口置換値以上）に
 上昇すると仮定。
 社会移動の状況：2010年 2015年の移動率が維持され
 と仮定。現在の社人研推定値

平成27年人口ビジョン

【推計条件】

基準人口：2010年10月1日現在（国勢調査）
 合計特殊出生率：1.55（2013年数値）が2020年に1.8
 （希望値）に、2030年には2.07（人口置
 換値）に上昇すると仮定
 社会移動の状況：今後10年をかけて移動率を約0.5倍に
 減らし、その後は一定すると仮定
 当時の社人研推定値



4 第2期鳥取市創生総合戦略

(1) 基本的視点

本格的な人口減少時代が到来する中で、地域の特色や地域資源を活用し、「将来を担う‘ひとづくり’」や「誰もが幅広く活躍できる‘しごとづくり’」、「安心して暮らし続けることができる‘まちづくり’」など、『いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市』の実現に向けた戦略を総合的に進めます。

(2) 構成

「第1期鳥取市創生総合戦略」で設定した次の3つの柱を第2期戦略においても踏襲し、本市の他にはない優位性（強み）や特性を活かした施策を推進し、目標達成を目指します。

総合戦略の柱	I	次世代の鳥取市を担う‘ひとづくり’
	II	誰もが活躍できる‘しごとづくり’
	III	賑わいにあふれ安心して暮らせる‘まちづくり’

(3) 戦略の柱と施策例

【 I 次世代の鳥取市を担う‘ひとづくり’ 】

将来を担う若い世代を中心とした人材育成は本市の更なる飛躍と発展の原動力となります。また、郷土を愛し、地域の活性化に寄与する次世代をリードする人材の育成、確保を進めます。

【具体的な施策（例）】

①教育の充実・郷土愛の醸成

- 鳥取市モデルの小中学校兼務教員の配置による「ふるさとを思い、志をもつ子」の育成を目指した特色ある中学校区の創造に向けた取り組み
- 小中学校の施設改善による優れた教育環境の充実
- 次世代を見据えた地域創造学校やICTの活用、英語教育の推進
- 市内の大学や企業と連携した学卒者の雇用創出と市内就職率の向上

②結婚・出産・子育て支援

- 麒麟のまち婚活サポートセンターや民間団体等の支援による出会い創出から結婚に至るトータルサポートの充実強化
- 妊産婦等の支援ニーズに応じた全妊婦相談、妊産婦支援、乳児一時預かり、母子ショートステイ、産後デイサービスの開設
- 保育園等の受け入れ体制整備の推進と多様な子育て支援サービスの充実
- 子育て世帯の保育料の軽減
- 放課後児童クラブ・放課後子ども教室による児童の健全な発達の促進
- 再就職支援のための職場復帰・キャリアアップ研修の開催

【 Ⅱ 誰もが活躍できる‘しごとづくり’ 】

本市の経済再生と雇用の創出を図るためには人口減少等に左右されない 地域の特性を活かした産業基盤の確立が求められます。

地元産業の底上げと地域経済の活性化を図り、誰もが幅広く活躍できる‘しごとづくり’を進めます。

【具体的な施策（例）】

①経済成長軌道への転換

- 生産性の向上及びサービスの効率化による事業の高付加価値化の推進
- 国内外への販路及び取引の拡大の促進
- 人材の育成、確保、定着の推進と雇用の創出

②工業の振興

- 産業の高度化及び雇用の拡大につながる企業誘致等の推進
- 誘致企業とのビジネスマッチングによる地元製造業の成長分野の新規参入・受注拡大の推進

③商業とサービス業等の振興

- 商業者等による販売促進、新商品開発、ニーズ調査及び環境整備等の支援
- 中小企業等の製品の販路拡大及び技術競争力の向上に向けた各種展示会への参加促進

④観光関連産業の振興

- 観光事業者等による新商品開発、情報発信、販売促進等の支援
- 観光資源の魅力向上や効果的な情報発信、多様な観光ニーズに応じた受入環境の整備・充実

⑤農林水産業の成長産業化

- 農林水産業で活躍する多様な人材の育成・確保と生産基盤の強化
- スマート農林水産業や6次産業化など生産流通イノベーションの促進
- 食料自給率、食の安全性の向上と海外マーケットへの販路拡大

【 Ⅲ 賑わいにあふれ安心して暮らせる ‘まちづくり’ 】

山陰海岸ジオパークをはじめとする豊かな自然、その自然が育む農林水産物や地域に根差した文化など独自性の高い魅力を活かし、若者に魅力ある、人が賑わい、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

【具体的な施策（例）】

①超高齢社会に向けたまちづくりの推進

- 地域包括支援センターの再編・拡充など包括的な支援体制構築の推進
- 在宅医療・介護連携の推進

②地域福祉の推進

- 地区を単位とする福祉ネットワーク機能の確立
- 高齢、障がい、子育て支援、生活困窮等の分野を超えた支援体制づくり

③協働のまちづくりの推進

- まちづくり協議会等が実施する地域の課題解決等に向けた取組みの支援
- 地区公民館等を活用したコミュニティ活動の更なる促進

④多文化共生のまちづくりの推進

- 多言語での行政情報の提供などによる生活支援
- 各種講座や交流イベントの開催などによる共生意識の醸成

⑤ふるさと・いなか回帰の促進

- 定住促進、Uターン相談窓口及び移住定住相談員による相談体制、情報提供の充実等
- 県外の若者・子育て世帯を対象とした移住促進のための支援

⑥滞在型観光の推進

- 外国人観光客の受入体制の整備、広報・誘客活動による国際観光の推進
- 地域連携 DMO「麒麟のまち観光局」の育成強化による観光振興

⑦シティセールスの推進

- ブランドスローガン「SQのあるまち」に基づく既存魅力資源の磨き上げ、「それ、鳥取市だよ」などの各種プロモーションの実施
- 首都圏でのシティセールスの推進

⑧文化芸術によるまちづくりの推進

- 活動助成や環境整備などの取組みによる民間団体等の活動促進
- 子ども向け出前講座などの取組みによる次世代の育成

⑩魅力ある中山間地域の振興

- 豊かな自然や農山漁村の魅力を生かしたグリーンツーリズム、エコツーリズムの推進
- 小さな拠点の形成と地域運営組織の体制強化

⑪中心市街地の活性化

- 鳥取駅周辺の回遊性の向上とにぎわい空間の創出
- リノベーション手法を用いた遊休不動産の再生・活用によるまちの魅力向上

⑫広域連携及び自治体間連携の推進

因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏域で交通、観光、医療等の連携を推進

⑬交通ネットワークの充実

鉄道、路線バスの機能強化及び共助交通等の推進

自動運転バス等の次世代公共交通システムの導入

⑭生活基盤の充実

多極ネットワーク型コンパクトシティの形成に向けたまちづくりの推進

拠点間をつなぐ幹線道路ネットワークの整備

⑮地域防災力の向上

自主防災会の活動支援及び防災体制の整備

消防団活動の充実強化

令和2年度 事業計画

道の駅西いなば気楽里

I 基本方針

令和元年5月に開通した山陰自動車道(鳥取西道路)は、国交省の調べで国道9号線などの断面交通量のうち約5~7割の交通が利用しており、鳥取県の東西地域を結ぶ基幹道路となっている。また、「道の駅西いなば気楽里」は、令和元年6月30日の新設オープン以来、712,276人(令和2年3月末現在、レジ通過客数により推定)と多くの利用者を数えている。

しかしながら、令和2年1月15日に国内最初の症例が報告された新型コロナウイルスの影響により市民生活は一変し、日本・世界経済は激震に見舞われている。全国に発出されていた緊急事態宣言は5月14日に一部都道府県を除き解除されたものの、引き続き広域移動の自粛等をはじめ市民生活のあらゆる場面において感染予防対策の徹底が強く求められている。景気の先行きは大変不透明でありさらに厳しさを増すことが予測される時代であるが、道の駅の健全な運営を通じて西いなば地域の活性化を強力に牽引することを社是とする弊社の存在意義を改めて強く認識し、速やかに経営改善を推し進め、安定的な地域経営へ参画、寄与できる体力を着実に養っていく。

令和2年度の基本方針を下記のとおりとし、昨年度明らかとなった施設設備運営管理における諸課題と獲得したノウハウを最大限活かしながら、一層の人材育成に努め道の駅西いなば気楽里の管理運営に万全を期すとともに、営業収支計画の達成を目指す。

1. 道の駅の健全な運営を実施するための管理運営体制の充実
2. 出荷者協議会等、道の駅を拠点とした地域経済振興の推進
3. 地域資源の利活用と西いなばエリアの活性化推進
4. まちづくり・地域振興の推進体制の構築
5. 鳥取市や商工団体等関係機関との連携強化

II 集客目標

部門	令和2年度 目標(A)	令和元年度		対比	
		目標(B)	実績(C)	(A)/(B)	(A)/(C)
直売・物産	500,100	145,000	432,671	344.9%	115.6%
レストラン	127,800	167,000	114,875	76.5%	111.3%
コンビニ	281,200	218,000	164,730	129.0%	170.7%
合計	909,100	530,000	712,276	171.5%	127.6%

(レジ通過客数による推定客数/令和元年度の営業期間は6/30~3/31)

III 事業計画

新たに「部門連携プロジェクト委員会」を発足させ、全社一体で利用者の満足度の向上を図り道の駅西いなば気楽里が持つ休憩・地域連携・情報発信機能の一層の充実に努め、西いなば地域の活性化を強力に推進する。また、社員育成を強化し確固たる社内体制を構築することで、鳥取西いなばまちづくり株式会社の組織力、ブランド力の向上を目指す。

<重点事業>

1. 社員育成の強化と社内連携体制の充実

- 経営改善目標を明確化し進捗管理の徹底を図る
 - ・部門別経営戦略会議の設置と運営

- 全部門自社運営のメリットを最大限発揮し収益増を追求する
 - ・部門連携プロジェクト委員会の発足と推進

- 地域雇用の拡充に努め地域の人財育成に寄与する
 - ・社員教育の徹底と地域づくり人財の育成

2. 西いなば地域の諸資源を活かした賑わい拠点の創出

- ・地域の食材や産物等情報の発信強化
- ・出荷者協議会等と連携した販売促進事業の実施
- ・多目的広場や地域交流室等駅舎全体を活かした交流イベント等の実施

3. 西いなば地域の玄関機能の拡充と地域の魅力アップの促進

- ・西いなば工芸・アート村推進事業の実施
- ・SNS等を駆使した地域情報の発信強化
- ・新たな視点によるエリア内周遊コースの造成と発信
- ・インフォメーションコーナーの充実

4. 西いなば地域の「小さな拠点・道の駅」化のための調査研究の推進

- ・道の駅を核とした地域生活支援事業の実施に向けた調査
(農林水産物の集荷と共助交通の可能性調査事業ほか)

【道の駅西いなば気楽里利用者数】

令和元年度

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
レジ 通過 数	鮮魚・物産コーナー ファーストフードコーナー			1,649	34,761	27,986	20,292	18,011	19,221	15,919	15,013	13,029	15,358	181,239
	レストラン鷺峰山			95	3,090	2,939	2,865	2,678	2,754	2,188	2,107	2,008	2,126	22,850
	ファミリーマート			0	20,501	21,707	17,928	19,017	18,081	16,867	17,220	16,281	17,128	164,730
	合 計			1,744	58,352	52,632	41,085	39,706	40,056	34,974	34,340	31,318	34,612	368,819
来 客 数	鮮魚・物産コーナー ファーストフードコーナー			4,123	86,918	69,983	50,363	40,416	43,521	36,849	35,135	31,511	33,852	432,671
	レストラン鷺峰山			480	15,705	14,885	14,500	13,390	13,770	10,940	10,535	10,040	10,630	114,875
	ファミリーマート			0	20,501	21,707	17,928	19,017	18,081	16,867	17,220	16,281	17,128	164,730
	合 計			4,603	123,124	106,575	82,791	72,823	75,372	64,656	62,890	57,832	61,610	712,276
利用車台数				1,841	49,250	42,631	33,116	29,128	30,147	25,861	25,155	23,133	24,645	284,907
備 考				6/30～開業	7/6～ファミ ー マ ー 開 業									

令和2年度

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
レジ 通過 数	鮮魚・物産コーナー ファーストフードコーナー	7,808	6,196	14,169	14,972									
	レストラン鷺峰山	685	662	1,838	1,948									
	ファミリーマート	14,877	14,615	17,278	18,178									
	合 計	23,370	21,473	33,285	35,098									
来 客 数	鮮魚・物産コーナー ファーストフードコーナー	17,188	13,719	30,014	32,757									
	レストラン鷺峰山	3,425	3,310	9,190	9,740									
	ファミリーマート	14,877	14,615	17,278	18,178									
	合 計	35,490	31,644	56,482	60,675									
利用車台数		14,196	12,656	22,592	24,269									
備 考		4/13～ 一部休業	5/16～ 時短で再開	6/6～ 時短一部解 除	7/1～ 時短解除拡 大									

<現在の営業状況>

- 鮮魚・物産コーナー(平日時短) 平日9-18 土日祝日9-19
- ファーストフードコーナー(時短) 10-18
- レストラン(時短) 10-18
- ファミリーマート(通常どおり)
- ※ 足湯(通常どおり) 9-19 (4/10～7/16の間休止)

※ 来客数はレジ通過数に基づき推計しています。



西因幡の歩き方

～道の駅 西いなば気楽里通信～

創刊号

2020. 5. 14



長康さんの愛情と
宗子さんのスパイスで
作られた野菜

「再々、畑に行くと、ええ野菜ができるだがあ。我が子みたいなもんだけえ」と、日に焼けた凛々しい顔に満面の笑み。「主人は忙しくなると調子がとってもよくて、雨が降ると機嫌が悪くなる。」と苦笑いされる奥様の宗子さん。長康さんの作った野菜は、宗子さんが袋詰めをして“商品”に。1回に軽トラ1台分の野菜を出荷されています。手入れの行き届いた畑には、ご夫婦の愛情と太陽の光をたっぷり浴びた野菜たちが、今日も出荷されるのを待っています。

出荷者さんご紹介 土橋長康さん・宗子さん(鳥取市鹿野町)

営業再開のお知らせ 5.16(土)am10開店

新型コロナウイルス感染拡大防止のためお休みをいただいております。物販コーナー・レストラン・ファーストフードコーナーの営業を5月16日(土)より再開いたします。

引き続き感染防止に万全を期すため、当分の間は時間を短縮しての営業とさせていただきます。(足湯は、今しばらくの間休止とさせていただきます。)

- ◆物販コーナー◆10:00～18:00 (ファーストフードコーナーは17:00まで)
※新商品「生姜甘煮」「日光生姜と鳥取牛そばろ」発売開始!
- ◆レストラン◆10:00～18:00 (ラストオーダー17:00)

☑新型コロナウイルス感染防止のため引き続きマスク着用のご協力をお願いします。☑

道の駅では、ご自宅又はご指定の場所まで農産物等の集荷に伺わせていただきます。少量・不定期でもOKです。お気軽にご相談ください。皆さまの野菜で「西いなば気楽里」を是非いっぱいにしてください。(担当:福田)

お近くまで集荷に伺います

§ 出荷者募集中! §

道の駅活用術 ①

今月のお弁当ランキング

🍷1位 こだわりカレー 税込¥298



🍷2位 トロリー玉子のデミオムライス 税込¥450

🍷3位 3色そばろ&チキン南蛮弁当 税込¥498

「毎週金曜日はファミマ弁当の日」

2000円以上のご注文で貴方の
オフィスにデリバリー。

○配送料は不要です。
(青谷・気高・鹿野町内事業所に限ります。)

○ご希望週の水曜日午後5時までに専用
FAX申込書にてご予約ください。
(FAX0857-82-4178)

○ファミマが誇る豊富なメニューからお選びいただけます。

～ファミリーマート西いなば気楽里店～

レストラン 鷲峰山だより



道の駅西いなば気楽里はまもなくオープン周年を迎えます。これを記念し、レストラン鷲峰山では新しいメニューの準備を進めています。今号では新メニューづくりの舞台裏をチョットだけご紹介します。

〈ある日の厨房〉

「貝がら節だけ～ホタテが使えんかな。」「因幡ゆかりの郷土料理もええがな。」「蕎麦は。丼物は」「レディースセットも欲しいわ・・・」

6月1日新メニュー発表

みなさまお楽しみに!!

募金のお礼とご報告

PICK UP

首里城応援
チャリティーライブ

この度は、首里城応援募金にご協力いただきましてありがとうございました。募金の総額は¥100,487となり。沖縄県首里城復旧・復興支援募金活動事務局へ寄付いたしましたことをご報告させていただきます。



"ゆいま～る"の皆さん (3/1 情報コーナー)

編集後記

「ゴールデンウィークの休み疲れが・・・」いつもの年ならこんな会話が飛び交う頃。新型コロナウイルスにより日本はもとより世界が一変。緊急事態宣言は全国的に延長されましたが、わが鳥取県はじめ、東京・大阪など特定警戒13都道府県以外では、いつもの社会・経済活動を取り戻していくための取り組みが徐々に動き始めました。西いなば気楽里も5月16日(土)から再出発です。まだまだマスク越しですが、一日も早くみなさまの笑顔にお逢いできますように。(駅長)

【発行元/お問合せ】

道の駅 西いなば気楽里
地域振興部

〒689-0422

鳥取市鹿野町岡木280-3

TEL: 0857-82-3178

FAX: 0857-82-4178

あなたの大切な人へ
"ふるさとの香り" お届けします。

大豆の甘みがぎゅっと詰まった

"まめっこ"の豆腐



青谷町の清らかな水と西いなば産大豆を使用した無添加の手作り豆腐。ひと晩水につけた大豆を石うすでつぶし、木綿でこした後に火にかけ、にがりを加えて出来上がり。「豆腐は天候や気温、作る人の気持ちによって変わる生き物」とおっしゃるのは、10年間豆腐作りに携わってこられた代表の土橋八千代さん。こうして4時間かけて作られる「まめっこ かちべとうふ」は、勝部地区の里山がデザインされたパックに、一つ一つ丁寧に詰めて出荷されています。

出荷者さんご紹介「まめっこ」さん(鳥取市青谷町)

けたかくるりこども食堂

6/13土「ありがとうの会」

～頼ってください みんな笑顔に なるように～

6/13土 道の駅気楽里体験交流室にて、地域の皆さんが届けてくださった食材(ネギ、カレーセット、白バラ牛乳、ヨーグルト、塩サバ等)や制服・カットシャツ等など、必要としている皆さんにお分けするイベントが開催されました。当日はパエリアのふるまいもあり大変大勢の方々にご来駅いただきました。



PICK UP!

鳥取市立図書館の「貸出しカード」をお持ちの方なら、ファミリーマート西いなば気楽里店で24時間いつでも図書受け取りができるようになります。7月1日スタートです。

※カードの申請、資料の予約、受け取りなど詳しくは図書館にお問い合わせください。

☎中央図書館 0857-27-5182

☎気高図書館 0858-87-2702

図書はコンビニ受け取りが便利です!

新型コロナウイルスの緊急事態宣言はひとまず解除されましたが・・・。県境をまたぐ移動は引き続き自粛が求められています。長期間にわたり帰省がままならないご家族がきついらっしやることと思います。あなたの大切な人へ"ふるさとの香り"を沢山詰めてお届けしてみませんか。道の駅がお手伝いします。

【ご利用方法】

- ①送り先を書いたメモを持ってご来駅ください。
- ②お気に入りの商品をお選びください。
- ③商品代金と送料をレジにてお支払いください。
(箱代金は不要です。)
- ④一緒に送りたい品物もお預かりします。
- ⑤あとは道の駅スタッフが箱詰めしクロネコ便にて大切に発送させていただきます。



おすすめセット [道の駅西いなば気楽里セレクション]

「西いなば おみやげセット」

- ・日光生姜と鳥取牛そば(道の駅限定)
- ・鹿野そば(乾麺 2食分) ・日光生姜饅頭
- ・日光生姜のわかめスープ
- ・鹿野生姜の甘煮(道の駅限定オリジナル)
- ・白バラ牛乳クリームシチュー
- ・イナサのさしみ醤油
- ・おいり(苴矩生姜入り) 8品 ¥3,990(税込み)

おすすめセット [道の駅西いなば気楽里セレクション]

「西いなば ごはんのお供セット」

- ・日光生姜と鳥取牛そば(道の駅限定)
- ・日光生姜のわかめスープ
- ・鹿野生姜の甘煮(道の駅限定オリジナル)
- ・のり佃煮 ・もさびふりかけ
- ・カラフルらっきょう(唐辛子味)
- ・のどぐろ味噌汁(生味噌タイプ)
- ・さくら姫米(3合) 8品 ¥3,560(税込み)

【送料の目安】 道の駅西いなば気楽里発

あて先地域	中国・九州 四国・関西	中部・北陸	関東・信越	東北
60サイズ	930	1040	1150	1370
80サイズ	1150	1260	1370	1590
100サイズ	1390	1500	1610	1830
120サイズ	1610	1720	1830	2050
140サイズ	1850	1960	2070	2290

※サイズは箱3辺の長さの和[cm]を表しています。

編集後記

"旅行には必ずイナサの醤油を持って行く"。出荷者さん紹介記事を担当いただいているYさんの弁。今回一緒に訪ねた勝部伝承館でいただいた「まめっこ豆腐」に添えられていたのもこの醤油。最高に美味かった。この地に生きてる私たちには至極当たり前前の組み合わせ。当たり前すぎてその素晴らしさに気づかなくなることがきつともっとある。西いなば万歳。(駅長)

【発行元/お問合せ】

道の駅 西いなば気楽里
地域振興部

〒689-0422

鳥取市鹿野町岡木280-3

TEL: 0857-82-3178

FAX: 0857-82-4178

レストラン

鷲峰山だより

道の駅西いなば気楽里



新メニューでお待ちしています。

ちょっとご紹介

6月1日より

きらりランチ☆ 1,181円(税込1,300円)

ホタテ貝殻丼 1,091円(税込1,200円)

生姜焼き定食 864円(税込950円)

唐揚げ定食 864円(税込950円)

お子様ランチ 700円(税込770円)

亀井御膳 1,364円(税込1,500円)

サーモン漬けとろーり丼 909円(税込1,000円)

塩サバ定食 818円(税込900円)

エビフライ定食 1,091円(税込1,200円)

トマトとクリームチーズのパフェ 727円(税込800円)

私のおすすめメニュー
909円(税込1,000円)
New!
日替わりランチ
その日入荷した地場食材をチョイス!
西いなばの旬をお楽しみください。
レストラン 鷲峰山

物販コーナー、コンビニとも
7月より**レジ袋が有料**となります。
エコバッグなど
ご持参ください。

新鮮野菜・果物青空市

いか、スペアリフ炭火焼き

お買い得お菓子詰め合わせ 1日50セット限り

おかげさまで一周年!

ファミマ前広場

ヨーヨー釣り・すーぱーボールすくい
綿菓子もあります。

“広い屋外でゆっくり
お過ごしください”

3千円以上お買い上げの方
ガチャポン抽選!で運だめし!

6月27日(土)、28日(日) セール価格でお待ちしています

レストランコンサート

西いなば工芸アート村推進事業

トーク&音楽の夕べ (第1回)

～ふりむけば鷲峰山～

とき 6月27日(土) pm6:30～

ところ 道の駅西いなば気楽里レストラン

出演 武部仁&岡田実、ひやまちさと他

定員 50人 (入場には整理券が必要です。)

※整理券500円(ワドルックお菓子付)はレストラン、道の駅インフォメーションでお求めください。

道の駅西いなば気楽里は気高町・青谷町・鹿野町地域で活動しているアーティストやまちづくり団体を応援しています。

※令和2年度支援・連携事業 ※※※※

○浜村温泉映画塾・映画祭

○ひおき工芸の郷 ○鹿野藝術祭

忙しいあなたにおすすめフード! ファーストフードコート

新メニュースタート

生姜たっぷり牛骨カレー ¥550

和牛コロッケ ¥100

20世紀梨ソフトクリームほか ¥250～¥350

暑い日は、かき氷!

いちごミルク ¥350 宇治抹茶 ¥400ほか



道の駅西いなば気楽里限定

生姜たっぷり牛骨カレー



道の駅では、ご自宅又はご指定の場所まで農産物等の集荷に伺わせていただきます。少量・不定期でもOKです。お気軽にご相談ください。皆さまの野菜で「西いなば気楽里」を是非いっぱいにしてください。(担当:福田)

お近くまで集荷に伺います

§ 出荷者募集中! §



西因幡の歩き方

～道の駅 西いなば気楽里通信～

7月号

2020. 7. 17



鷲峰山からの風が
ほどよく吹いて実る
伊藤さんちの柿

伊藤さんの柿づくりの源流は、半世紀前お父さんの畑に根付いていた1本の小さな木。今では1.5haの山畑に「本数を数えるのがむずかしい」とおっしゃるぐらいの柿の木が築山の松のように美しく枝を張っています。「真夏の太陽をたっぷり浴びた後、9月の雨に濡れながら膨らんでいく柿にスーッと吹き抜ける風が雨露を乾かし、皮が薄くきれいな柿を育てくれる。」そして、昼と夜の寒暖差によって甘みの強い柿に。正人さんと逢坂の大自然。二人三脚で育てられた「伊藤さんちの柿」は暑さがホッとひといきつく9月末から店頭へ並びます。

出荷者さんご紹介 伊藤正人さん(鳥取市気高町)



道の駅に警察音楽隊がやってくる!!

- 日時 7月17日(金) 午後1時～1時半
 - 場所 レストラン鷲峰山 屋外(足湯付近)
 - 演奏予定曲
♪坂本九コレクション♪行進曲「美中の美」
♪ときめきマイタウンなど
- ※マスク着用のご協力をお願いします。
※雨天時また鳥取市内で新たなコロナウイルス感染が発生した場合は中止します。



七月 4連休は

すいか 23 海の日
メロン 24 スポーツの日
25 (土)
26 (日)

大売り出し



道の駅活用術 ③

父ちゃんパワー 夏休み特集☆

父ちゃんパワー

活かす方法教えます!

道の駅流

西いなば気楽里には、他の道の駅には見られない部屋があります。農産加工室・海産加工室もその一つ。新鮮な食材が日々ここで加工され、刺身や佃煮などが新鮮なまま店頭並びます。もう一つは、皆さまに様々な目的でお使いいただける「体験加工室・地域交流室」・「ふれあい広場」です。

コロナの影響で少し短くなってしまいましたが夏休みは目と鼻の先。今月の「道の駅活用術」では、特色ある駅スペースを活用した貴男の技を一層磨くスペシャルなイベントをご紹介します。ご家族おそろいで楽しみください。

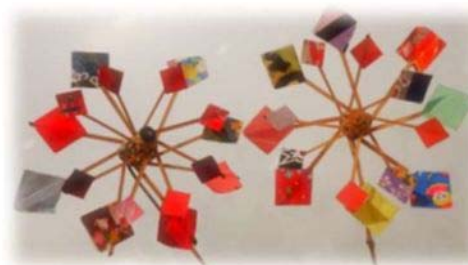


☆ 8月2日(日)【親子おさしみ教室】

- 時間 1回目13:30～2回目15:30～(いずれの回も1時間程度)
- 場所 体験加工室 ●定員 各回6組まで(先着順)
- 持ち物 エプロン、汗拭きなど(マスクもね)
- 参加方法
※電話、FAX、メールにて氏名・人数・連絡先を添えてお申込みください。7月31日(金)締切りです。
※当日はお好きな魚を鮮魚コーナーでお買い求めください。
※出来上がった刺身は、晩御飯にお楽しみください。

☆ 8月8日(土)【「竹の風車」手作り教室】

- 時間 午前10時から午後3時の都合の良い時間(30分～1時間程度)
 - 場所 体験加工室 ●定員 50人(先着順)
 - 持ち物 汗拭きなど(マスクもね)
 - 参加料 500円(材料代)
※「竹の風車」参加補助券2枚ご持参の方は無料
 - 参加方法 当日受付。事前申込は不要です。
- 主催・お問合せ:竹の風車同好会 0858-87-3009(岸田さん)
協力:道の駅西いなば気楽里



☆ 8月22日(土)【親子で天の川散歩】

- 時間 午後7時半から8時まで ●場所 ふれあい広場(浜村川沿い)
- 持ち物 汗拭きなど(マスクもね) 望遠鏡お持ちの方はご持参可
- 参加料 無料
- 参加方法 当日受付。事前申込は不要です。
- 星空案内:鳥取天文協会



第2回トーク&音楽の夕べ

～鹿野ふるさとミュージカルの調べ～

8月22日(土) 西いなば工芸アート村推進事業



- 時間 午後6時半～7時半
 - 会場 道の駅レストラン鷲峰山
 - 出演 川下はるか 森下愛美 西岡千秋 ひやまちさと ほか
 - 定員 50人(入場整理券が必要です。)
- ※入場整理券(500円/7ドリンク・お菓子付)
8月1日から道の駅にて販売開始!!

鳥取市立図書館の「貸出しカード」をお持ちの方なら、ファミリーマート西いなば気楽里店で24時間いつでも図書の受け取りができます。※カードの申請、資料の予約、受け取りなど詳しくは図書館にお問い合わせください。

☎中央図書館 0857-27-5182
☎気高図書館 0858-87-2702

図書はコンビニ受け取りが便利です!

編集後記 セタ前後、沢山の皆さまが短冊に願いを込めて駅舎の笹に結んで行かれました。コロナのために面会できず「施設に居る母に早く会いたい」とわざわざしたためにいらしゃった一人の女性にお会いしました。日々多くの皆さまが行き交う道の駅。お一人ひとりが悲喜こもごもの思いをもってご来駅になっていることに改めて気づかされました。お客様お一人おひとりに丁寧に寄り添える道の駅でありたいと思います。「すべての皆さまの願いが叶いますように!」(駅長)

【発行元/お問合せ】
道の駅西いなば気楽里
〒689-0422
鳥取市鹿野町岡木280-3
TEL: 0857-82-3178
FAX: 0857-82-4178
HP :http://nishiinaba.jp

鳥取市西地域イベント一覧

令和2年度 鳥取市西地域主な行事

月	日(曜)	イベント名	事業内容	主催者	実施場所	参加者の状況			担当部署
						人数	範囲	参加者負担	
4月	3/下旬～4/中旬	鹿野桜まつり	鹿野城跡公園で毎年開催。堀端に咲く約500本のソメイヨシノに、夜間ライトアップを施す。	鹿野町観光協会	鹿野城跡公園	中止 (ボンボリ、ライトアップのみ)			鳥取市鹿野往来交流館「童里夢」
	26日(日)	春の鹿野ええもん市	地元の採れたて野菜や特産品の販売、飲食ブースが出店。	鹿野ええもん市実行委員会	鹿野町総合支所西側駐車場他	中止			鹿野町総合支所地域振興課
6月	5/30日(土)～6/28日(日)	あおや文化まつり2020	青谷町文化協議会の会員による美術工芸などの作品展示 ※舞台発表は中止	青谷町文化協議会	あおや郷土館	696人	県内	無	青谷町総合支所地域振興課
	7日(日)	青谷ようこそ市場(あおいち)	青谷地域に賑わいを創出するために、各種バザー、イベントを実施する。	青谷地域にぎわい創出実行委員会	青谷ようこそ館前広場	中止			青谷町総合支所地域振興課
	14日(日)	鳴り砂クリーン作戦第1弾	鳴り砂の浜を守るため、一斉清掃を実施する。	青谷町観光協会	青谷海岸	雨天のため中止			青谷町総合支所地域振興課
	28日(日)	西部地域交流駅伝大会	第15回西部地域交流駅伝大会 15.6kmを6人でタスキを繋ぐ駅伝競技	鳥取市体育協会気高町支部・青谷町支部・鹿野町支部	気高町・鹿野町地内	中止			教育委員会気高町分室・青谷町分室・鹿野町分室
7月	5日(日)	夏泊朝市&青谷ようこそ市場(あおいち)	青谷地域に賑わいを創出するために、各種バザー、イベントを実施する。	青谷地域にぎわい創出実行委員会	夏泊漁港周辺	中止			青谷町総合支所地域振興課
	中旬	第13回城下町しかのぶらり蓮ウォーク	蓮を見ながら町並みを散策するイベント	城下町しかの蓮ウォーク実行委員会	鹿野町農業者トレーニングセンター集合	中止			鹿野町総合支所地域振興課 鳥取市西商工会 鹿野支所
	25日(土)	青谷ようこそ夏まつり	商工業の振興とまちの活性化を図るため、ステージイベント、屋台村、イベントコーナー、抽選会等を実施する。	青谷ようこそ夏まつり実行委員会、鳥取市西商工会	JR青谷駅前特設広場(青谷上寺地遺跡展示館前広場)	中止			青谷町総合支所地域振興課 鳥取市西商工会 青谷支所
8月	7日(金)・8日(土)	貝がら節祭り2020	1日目は花火大会、2日目は貝殻節総踊りなどが行われます。	貝がら節祭り実行委員会	浜村温泉街	中止			気高町総合支所地域振興課
	2日(日)	かちべ伝承館まつり&青谷ようこそ市場(あおいち)	青谷地域に賑わいを創出するために、各種バザー、イベントを実施する。	かちべ伝承館 青谷地域にぎわい創出実行委員会	かちべ伝承館周辺	中止			青谷町総合支所地域振興課
	22日(土)・23日(日)	池田市・鳥取市スポーツ少年団交流親善軟式野球大会	鳥取市西部地域と大阪府池田市のスポーツ少年団が軟式野球大会を通じて交流する。	青谷町スポーツ少年団指導者協議会・池田市スポーツ少年団本部	青谷町グラウンド	中止			教育委員会事務局 青谷町分室
	30日(日)	第33回鹿野ふるさとミュージカル	町内に伝わる歴史や伝説をもとにした作品を年に1度上演。	鹿野町民音楽祭実行委員会	鳥取市民会館	中止			鹿野町総合支所地域振興課



鳥取市西地域イベント一覧

月	日(曜)	イベント名	事業内容	主催者	実施場所	参加者の状況			担当部署
						人数	範囲	参加者負担	
9月	6日(日)	青谷ようこそ市場(あおいち)	青谷地域に賑わいを創出するために、各種バザー、イベントを実施する。	青谷地域にぎわい創出実行委員会	青谷町総合支所周辺	中止			青谷町総合支所地域振興課
	8/29(土)~9/13(日)	あおいちギャラリー	青谷小中学校の児童生徒作品及び青谷町文化団体等の作品展示	青谷地域にぎわい創出実行委員会	あおや郷土館	200人	県内	無	青谷町総合支所地域振興課
	9/12(土)~9/27(日)	鹿野わったいな祭	作品展示のみ	鹿野わったいな祭実行委員会	鹿野城下町地区ほか	規模縮小。週末だけのまちなみせと同時開催			鹿野町総合支所地域振興課
	9/12(土)~9/27(日)	鳥の演劇祭13	今年は、日・中・韓のBeSeTo演劇祭と共催。4週末にわたる演劇祭。	鳥の劇場運営委員会	鳥の劇場及び周辺		県内外	有	
	9/12(土)~9/27(日)	週末だけのまちなみせ	鹿野町に存在する空き家、空き店舗、空地などを使った出店イベント	いんしゅう鹿野まちづくり協議会	鹿野城下町地区		県内外	無	鹿野町総合支所地域振興課
10月	4日(日)	青谷ようこそ市場(あおいち)	街並みウォーク(スタンプラリー)	青谷地域にぎわい創出実行委員会	ようこそ広場周辺	100人	県内	無	青谷町総合支所地域振興課
	未定	睦逢大堤うぐい突き	竹で編んだ「うぐい」という漁具で魚を獲る「うぐい突き」は、400年以上続く伝統漁法。この漁法の体験と地元産品の屋台村を楽しむイベント。	睦逢大堤うぐい突き保存会	気高町睦逢大堤池	200人	県内	無	気高町総合支所地域振興課
	11日(日)	山陰海岸ジオパーク一斉清掃&鳴り砂クリーン作戦第2弾&鳴り砂ビーチフェスタ	鳴り砂の浜を守るため、清掃、ビーサン跳ばし選手権等の砂丘レクリエーション	青谷町観光協会、青谷地域づくり連絡協議会	青谷海岸	150人	県内	無	青谷町総合支所地域振興課
		山陰海岸ジオパーク一斉清掃	浜村海岸の一斉清掃	鳥取砂丘美化運動協議会	浜村海岸	150人	県内	無	気高町総合支所地域振興課
秋ごろ	未定	気多の市	気高町内のいちごを使った市内の菓子店によるスイーツ販売、ステージイベント。	気多の市実行委員会	ヤサホーパーク(浜村砂丘公園)	中止			鳥取市西商工会・気多の市実行委員会
11月	10月31日(土)・11月1日(日)	気高ときめきまつり	文芸作品展示やコンサート、芸能発表など多彩な催しで芸術の秋を楽しむ祭り。	気高ときめきまつり実行委員会	気高町トレーニングセンター	中止			気高町総合支所地域振興課 教育委員会事務局 気高町分室
	3日(火)	こばしまウォーキング	青谷町内の史跡や名所を青谷町ならではの「こばしま」(おやつ)を取りながらウォーキングする。	鳥取市体育協会 青谷町支部	青谷町内	100人	県内外	有	教育委員会事務局 青谷町分室
	7日(土)・8日(日)	青谷オープン卓球2020	「卓球の町青谷復活イベント」として中学校の各県代表と青谷中・鳥取県内選抜の男女12チームによる卓球大会	青谷オープン卓球大会実行委員会	青谷町農林漁業者トレーニングセンター	250人	県内外	無	青谷町総合支所地域振興課

鳥取市西地域イベント一覧

月	日(曜)	イベント名	事業内容	主催者	実施場所	参加者の状況			担当部署
						人数	範囲	参加者負担	
	15(日)	ふるさと気高ウォーキング大会	海に山に温泉！自然に囲まれた魅力あふれる気高地域をのんびり歩く大会。	ふるさと気高ウォーキング大会実行委員会	気高町内	150人	県内	有	鳥取市教育委員会 気高分室
		青谷因州和紙産地強化事業・因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭	因州和紙のイベントをとおして活用やPRを図る他、和紙の里で収穫した農作物の販売やバザーを行う。	青谷地域にぎわい創出実行委員会	あおや和紙工房及び日置地区公民館周辺	1,000人	県内外	無	青谷町総合支所 地域振興課
12月	12日(土)	青谷駅前イルミネーション & 青谷ようこそ市場(あおいち)	青谷地域に賑わいを創出するために、各種バザー、イベントを実施する。(和紙ランプとイルミネーション)	鳥取市西商工会 青谷地域にぎわい創出実行委員会	青谷ようこそ館前広場及び青谷駅前周辺	200人	県内	無	青谷町総合支所 地域振興課
1月	1日(金)	鹿野正月マラソン	山紫苑を発着点に、加知弥神社までの往復約2キロメートルのコースを走る。	体育協会鹿野町支部	国民宿舎山紫苑	200人	県内	無	教育委員会事務局 鹿野町分室
		第50回青谷町正月マラソン大会	「楽しくマイペースで走ろう」をキャッチフレーズに目的に合わせて1.5km、3km、5kmのコースに分かれて行う新春の健康マラソン	鳥取市体育協会 青谷町支部	青谷町農林漁業者トレーニングセンター	300人	県内	無	教育委員会事務局 青谷町分室
2月	未定	しょうがぼかぼかフェスタ2021	『温泉と生姜と健康』をテーマにしたイベント。この日限定の生姜風呂、生姜と健康がテーマの西いなば屋台村のほか、健康イベント・お子様向けのイベントなど、内容盛りだくさんの祭り。	しょうがぼかぼかフェスタ実行委員会	ゆうゆう健康館けたかほか	3,600人	県内	無	気高町総合支所 地域振興課
3月	下旬	気高スカロップ杯中学校バレーボール大会	バレーボールのまち気高で毎年、中国・四国地方の強豪中学生チームを招待し、レベルアップ、交流を図る中学生のバレーボール大会。	鳥取市バレーボール協会	【女子】気高町農業者トレーニングセンター 【男子】青谷町農林漁業者トレーニングセンター	450人	県内外	無	鳥取市教育委員会 気高分室

様式第 1 号 (第 7 条関係)

令和 2 年度 鳥取市輝く中山間地域創出事業 事業計画書及び収支予算書

1 事業実施主体の概要

実施主体名	亀井さん検定実行委員会
代表者氏名	委員長 廣田敬祐
所在地・連絡先	鳥取市鹿野町鹿野1517
組織の概況	<p>○委員総数 9人 (主な構成員:鹿野町郷土文化研究会、気高・鹿野・青谷地域有識者)</p> <p>○組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長 1人 ・副委員長 2人 ・事務局 1人 <p>○設立 令和元年10月23日</p>

組織の概況：これから組織を結成する場合には予定を記入

2 事業区分

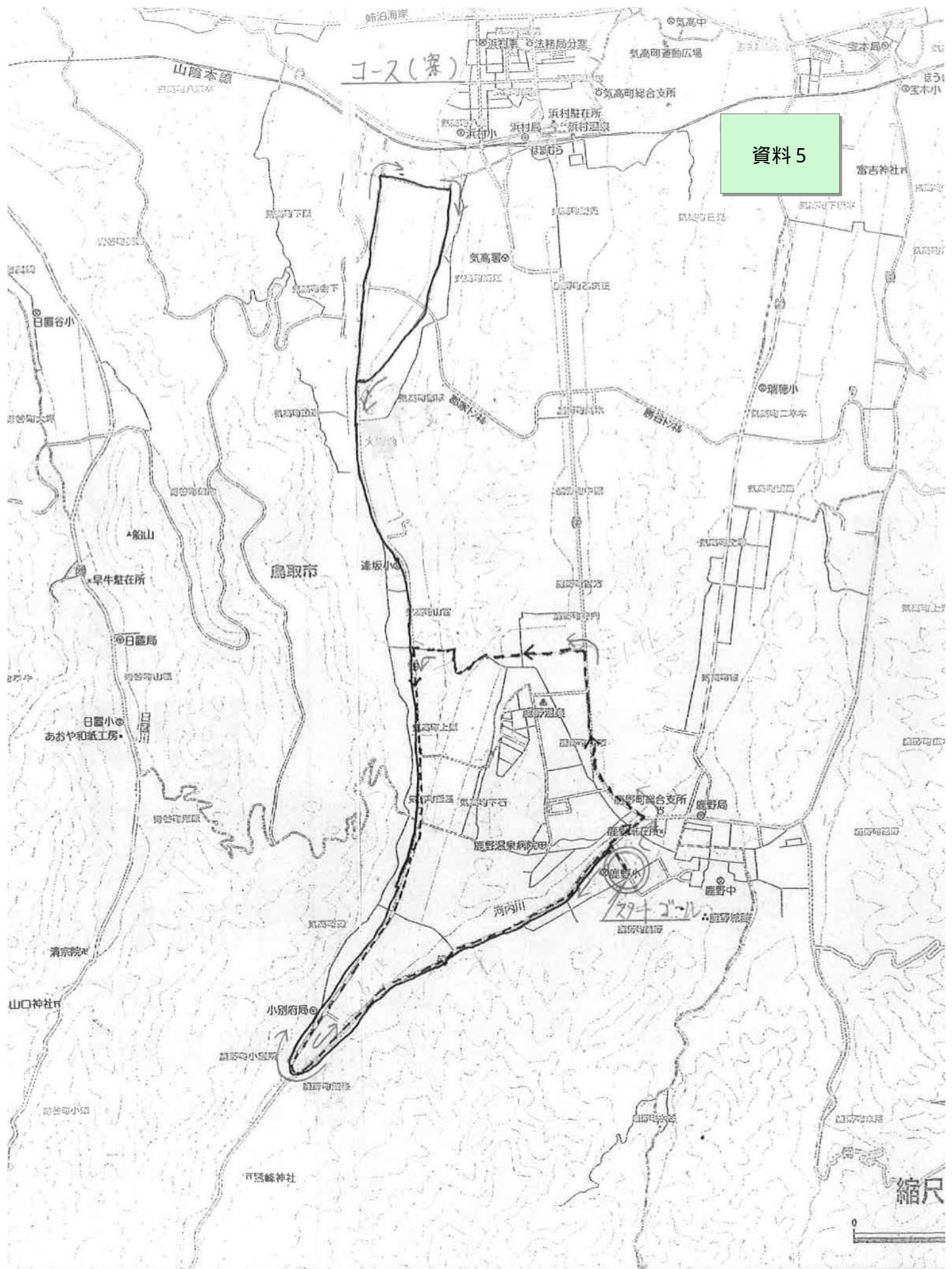
(申請する事業区分いづれかに をしてください。)

計画策定 / ソフト事業 (1 年目) / 里山交流 (年目)

3 事業計画の概要

(1) 事業の内容	<p>令和元年度に収集検討した鹿野城主亀井茲矩のエピソードを基とした検定問題を活用し、魅力ある新たな地域づくりイベントの創出に着手する。</p> <p>第1年次:【検定事業のキックオフと初級検定の実施】</p> <p>1. プチ亀井さん検定(入門編)の実施 キックオフ事業として、地域イベント「鳥の演劇祭&週末だけのまちの店」及び「鹿野往来交流館童里夢」さらに「鹿野学園・表鷲科授業」と連携して、<u>プチ検定ガイドマップ</u>を片手に街並みを散策しながら地域の歴史を探訪する<u>プチ亀井さん検定</u>を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知チラシの作成 5,000枚 ・ガイドマップの作成(A4・2折) 300枚 ・認定章(缶バッチ)作成 300個 <p>2. 亀井さん検定(初級編)の実施 検定事業の開催を内外に広く周知し本格的にスタートさせる。検定試験は令和2年11月下旬、国民宿舎山紫苑にて実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知チラシの作成 6,000枚 ・周知ポスターの作成 50枚 ・検定ガイドブックの作成(A5・P12) 300部 ・認定章(手ぬぐい)作成 100枚 <p>3. 亀井さん検定(中級編)の取材と出張検定の実施 亀井さん検定2年次目(中級編)の検定ガイドブックの作成に向け、亀井さんの転封先である鳥根県津和野町を訪問しエピソード取材並びに現地の歴史研究家等を対象とした出張検定試験を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津和野町訪問(1泊2日) 8人
-------------	---

(2) 実施 (予定) 期間	令和2年8月～令和3年2月
(3) 事業の目的・背景	<p>【背景】 鹿野町地域では、戦国時代の鹿野城主亀井氏が整備した城下町や、祭り・文化等が地域住民の大切な誇りとして守り伝えられているところであるが、視野を広げる時、亀井氏の足跡は鹿野町のみならず、亀井領であった千代川以西一円に色濃く伝わっていることに気づくことができる。 一方、少子高齢化や地域コミュニティの弱体化・核家族化等の進行により、地域固有の様々な伝統行事や衣食住文化、ひいては地域に生きる誇り消滅の危機に立たされているとも言える。</p> <p>【目的】 ○地域の魅力を再発見し地域に生きる誇りを広く醸成する 「亀井さん」を西地域共通のキーワードとし、鳥取市西地域(鹿野町・気高町・青谷町)が連携して新たな地域づくり活動を創出する。 また、多数の地域住民・児童生徒の検定参画を促すことで、地域の魅力を再発見し、地域に生きる誇りを広く醸成する。</p> <p>新たな地域の魅力、文化を創る・発信する 「亀井さんを育んだ西因幡」をテーマとする新しいストーリーを創出し西地域一帯の散策探訪ルートを広く提案するとともに、伝統行事や食など亀井さんにまつわるモノ・コトの保存・復活・新たな価値創造等、新たな地域づくり活動の創出に寄与する。</p>
(4) 期待される効果	<p>1. 西地域三町連携による地域活性化機運の高揚 地域活性化機運: 「伝統・文化再発見」「地域に生きる誇り醸成」 「連携協働による楽しみ獲得」</p> <p>2. 西地域の新たな魅力創出と交流拡大 新たな魅力: 「消滅した伝統・文化等の復活」 「既存の伝統・文化等に新たな価値=付加価値の追加」 交流拡大: 「新しい地域づくりイベントの誕生(亀井さん検定)」 「西地域一帯の散策探訪ルート誕生」 「津和野・安来など亀井氏をテーマとした地域連携拡大」</p>



コース(案)

資料5

10kmコース -----
 11-7コース —————

「この地図は、国土地理院発行の2万5千分の

縮尺

